ライオン誌10月号 2007年（平成19年）9月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第50巻第4号

IN JAPAN
Official publication of Lions Clubs International

October 2007

10

THEME ミレニアム開発目標

PICK UP ライオンズクエスト

ふるさと探訪 高知県四万十

第50巻第4号

We Serve

CONTENTS

ミレニアム開発目標って何？
私たちに何が出来る？

マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長は今年度プログラムの中で、ミレニアム開発目標の達成に向けた活動に着手するよう求めている。ミレニアム開発目標は２０１５年までの貧困と飢餓の解消など、世界の平和と協調そして発展を実現する八つの意欲的なゴールを掲げる。しかし残念ながら、一般にはその存在さえよく知られていない。

ミレニアム開発目標とは何か、達成期限の中間地点に当たる今、どのような状況にあるのか。後半ページでは理解を助ける統計資料や、参考になる国内ＮＧＯの取り組みも紹介する。ライオンズとして次の一歩をどう踏み出すか、考えてみよう。

photo/UNDP

ミレニアム開発目標と市民社会の果たす役割

大崎麻子（開発政策コンサルタント）

■おおさき　あさこ
コロンビア大学国際関係修士号M.I.A（国際人権法）、上智大学比較文化学部卒業。97年、UNDPニューヨーク本部に入局。開発政策局貧困削減部にて、MDGsのアドボカシー、開発政策のジェンダー主流化に携わる。また、UNDP／日本WID基金のマネージメントを担当し、世界50カ国以上で女性支援のプロジェクトを実施。04年、日本に帰国し、開発政策やジェンダーと開発を専門とするコンサルタントとして独立

「また新しいゴール？」。２０００年の国連ミレニアム・サミットで採択されたミレニアム宣言を受けて、ミレニアム開発目標（ＭＤＧｓ＝エム・ディー・ジーズ／７ﾍﾟｰ参照）が設定された時、多くの人々が半ばうんざりした反応を示した。当然かもしれない。90年代、ありとあらゆるテーマについての国際会議が開催され、その度に行動計画が合意された。例えば、90年の子どものための世界サミット（子どもの人権と福祉）、92年の環境と開発に関する国連会議、93年の世界人権会議（人権）、95年の社会開発に関する世界サミット（社会開発）、第４回世界女性会議（ジェンダー平等と女性のエンパワーメント）、96年の世界食糧サミット、といった具合である。

　これだけ「達成半ば」の国際目標があるにもかかわらず、なぜ「ミレニアム開発目標」なのか？　この問い掛けに対して納得出来る答えを出し、途上国とドナー国の政府、援助機関、ＮＧＯを含む市民社会組織、そして一人ひとりの市民にＭＤＧｓをアピールすることが、私が当時勤務していた国連開発計画（ＵＮＤＰ）開発政策局貧困削減部に課された、大きなミッションとなったのである。

ＭＤＧｓが生まれた経緯

　00年９月、ニューヨークの国連本部に１４７カ国の国家元首を含む、１８９カ国のリーダーが集結し、国連ミレニアム・サミットが開催された。日本からは当時の森喜朗総理大臣が出席した。国連本部周辺の警備の物々しさは忘れられない。本部ビル前の道路は完全に封鎖され、無数の白バイが整列し、国連ビルの屋上にはスナイパーが目を光らせていた。

　この歴史的なサミットで、各国のリーダーたちは「自由、平等、連帯、寛容、自然の尊重、責任の分担」を国際社会共通の価値として確認し、それを明文化した「国連ミレニアム宣言」を採択した。「ミレニアム宣言」は、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッドガバナンス（良い統治）、アフリカの特別なニーズなどを21世紀における国際社会の課題として掲げている。更には「すべての人々が開発の権利を現実のものとすること、並びに全人類を欠乏から解放することにコミットする」と明言した。「開発が人々の権利であること」、そしてそれを実現することに政府として「コミットする」と表明した点は、後で述べるがとても画期的なことであった。

　ミレニアム宣言の精神と90年代のさまざまな国際目標を統合し、八つの期限付き数値目標に集約したのがＭＤＧｓである。かくして01年の春、私が所属していた貧困削減部はＭＤＧｓ担当部署としての役回りを与えられ、この新たな枠組みを「国際社会共通のフレームワーク」にまで昇華するための試行錯誤が始まった。

これまでの国際目標とどう違う？

　冒頭で述べた通り、ＭＤＧｓへの当初の反応は冷めたものであった。「ゴールには何一つ目新しいものは無い」「達成出来なかったら誰が責任を取るのか？」といった批判も受けた。それに対し、私たちは次のようなことを強調してアピールした。

photo/UNDP

1．ＭＤＧｓは世界のトップ・リーダーがその実現に確固たるコミットメントを示した「期限付きの具体的な数値目標」であること。ＭＤＧｓの最大の目標は「２０１５年までに、１日１ドル未満で暮らす人々の割合を（90年の統計比で）半減させる」ことである。以前にも教育分野などでは具体的な期限と数値目標が掲げられていたが、「貧困」そのものに対して具体的な数値目標と達成期限が掲げられたことはなかった。また、ゴール８としてドナー国の目標も設定されている。ＯＤＡ（政府開発援助）だけではなく、途上国の予算をひっ迫させている債務、国際貿易のルールなど、先進国と途上国の間の構造的な不平等にまで言及した具体的な内容である。途上国とドナー国が目指すべきゴールが明確に設定された点、そして強い政治的なコミットメントを得た点において画期的である。

2．ＭＤＧｓは上から降ってきた画一的な「ゴール」や「義務」ではなく、それぞれの国が「オーナーシップ」を発揮出来る枠組みであること。サハラ以南アフリカの国々と、東アジアの国々とでは開発の度合いも背景も全く違う。そこで、まずはそれぞれの国々がＭＤＧｓに照らし合わせて自分たちの状況を把握し、独自のターゲットを設定することを奨励した。現状とのギャップを埋めるためにはどのような政策や戦略が必要なのか、そしてそれを実現するためにはドナー国にどのような支援を求めるのかを模索するための手段であることを強調した。更に、一連の「現地化作業」を政府だけで行うのではなく、必ず市民社会組織と協働し対話をしながら進めることを奨励した。例えば、各国は毎年ＭＤＧｓの進捗状況を報告するモニタリング・レポートを任意で提出している。レポートを作る際には、草の根で活動しているＮＧＯなどの市民社会組織の声を聞き、貧しい人々の現状やニーズをくみ取り、それを次の段階の開発戦略にも反映させる仕組みとして機能させることを目指している。

3．ＭＤＧｓは市民社会にとって、とても強力な「アドボカシー（＊注１）・ツール」であること。ＭＤＧｓの基礎となる「ミレニアム宣言」は、開発は人権であると明言している。つまり、各国政府は、ＭＤＧｓの達成に全力を注ぐことを一人ひとりの市民に約束したのである。だから、市民は政府に対し「約束を守ること」を堂々と要求出来る。政府が約束を履行しているかどうかをモニタリングし、実行責任を求めることは市民社会組織の重要な役割だ。それまでは貧困、教育、女性、保健などの個

＊注１：アドボカシーとは、問題意識を持つ人々が団結して意思決定者に対して声を上げ、既存の仕組みや政策を変更することで社会を変えていくプロセスのこと。古くは18世紀末のイギリスでの奴隷制廃止運動、１９８０年代の南アフリカでの反アパルトヘイト運動、90年代後半の途上国への債務帳消しキャンペーンなどは、市民によるアドボカシーが「既存の仕組み」を変更することに成功した一例である

ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals=エム・ディー・ジーズ）

1 極度の貧困と飢餓の撲滅
- ターゲット1：2015年までに1日1ドル未満で生活する人口比率を半減させる。
- ターゲット2：2015年までに飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる。

2 普遍的初等教育の達成
- ターゲット3：2015年までに、すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了出来るようにする。

3 ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- ターゲット4：初等・中等教育における男女格差の解消を2005年までには達成し、2015年までにすべての教育レベルにおける男女格差を解消する。

4 乳幼児死亡率の削減
- ターゲット5：2015年までに5歳未満児の死亡率を3分の2減少させる。

5 妊産婦の健康の改善
- ターゲット6：2015年までに妊産婦の死亡率を4分の3減少させる。

6 HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
- ターゲット7：HIV／エイズの蔓延を2015年までに阻止し、その後減少させる。
- ターゲット8：マラリア及びその他の主要な疾病の発生を2015年までに阻止し、その後発生率を下げる。

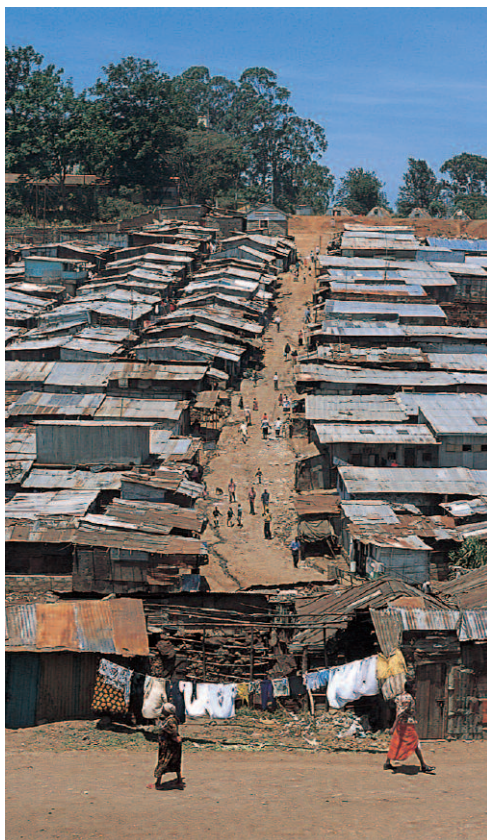
7 環境の持続可能性の確保
- ターゲット9：持続可能な開発の原則を各国の政策や戦略に反映させ、環境資源の喪失を阻止し、回復を図る。
- ターゲット10：2015年までに、安全な飲料水と基礎的な衛生施設を継続的に利用出来ない人々の割合を半減する。
- ターゲット11：2020年までに最低1億人のスラム居住者の生活を大幅に改善する。

8 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進
- ターゲット12：開放的で、ルールに基づいた、予測可能でかつ差別のない貿易及び金融システムの更なる構築を推進する。
  （グッド・ガバナンス、開発及び貧困削減に対する国内及び国際的な公約を含む）
- ターゲット13：後発開発途上国（LDC）の特別なニーズに取り組む。
  （[1]LDCからの輸入品に対する無関税・無枠、[2]重債務貧困国（HIPC）に対する債務救済及び二国間債務の帳消しのための拡大プログラム、[3]貧困削減に取り組む諸国に対するより寛大なODAの提供を含む）
- ターゲット14：内陸国及び小島嶼開発途上国の特別なニーズに取り組む。
  （バルバドス・プログラム及び第22回国連総会の規定に基づき）
- ターゲット15：国内及び国際的な措置を通じて、開発途上国の債務問題に包括的に取り組み、債務を長期的に持続可能なものとする。
- ターゲット16：開発途上国と協力し、適切で生産性のある仕事を若者に提供するための戦略を策定・実施する。
- ターゲット17：製薬会社と協力し、開発途上国において、人々が安価で必須医薬品を入手・利用出来るようにする。
- ターゲット18：民間セクターと協力し、特に情報・通信分野の新技術による利益が得られるようにする。

別の分野で別々に活動していた市民社会組織が、ＭＤＧｓという共通の枠組みの下では連帯してアドボカシー活動を行うことが出来る。
啓発活動が始まってから６年。ＭＤＧｓは今や国際社会共通の開発目標の枠組みとして定着した。達成に向けた進捗状況は毎年、国そしてグローバル・レベルでモニタリングされているし、各国の開発戦略はＭＤＧｓの進捗状況に照らし合わせて策定されるようになってきた。また、世界中の市民社会組織がＭＤＧｓを共通の目標として連帯し、アドボカシー・キャンペーンを展開している。

達成に向けた見通し

07年7月はＭＤＧｓの折り返し地点に当たる。国連はＭＤＧｓの中間報告書を発表し、1日1ドル未満で暮らす人々の割合は90年の32％（12・5億人）から04年は19％（9・8億人）に減少したことを指摘し、ＭＤＧｓ達成に向けて顕著な前進が見られたと結論付けた。しかしその一方で、達成の状況には国と国の間や国内で「ばらつき」があると報告している。その理由として、経済成長の恩恵が平等に行きわたっていないことやドナー国の資金を提供していないことなどを指摘した。そして、今後の見通しとして「政府の強いリーダーシップ、貧困削減のために不可欠な分野（保健・医療、教育、水の供給など）への公共投資を増やすような効果的な政策と戦略、そしてそのために必要な国際社会からの財政的・技術的支援があれば、ＭＤＧｓは達成可能」と述べている。

スリランカは、人口の3分の1を超える人々が1日2ドル未満で生活しているアジアの最貧国の一つだが、妊産婦死亡率は世界でも最も低いグループに属している。それは、公的保健医療サービスを無料化し、誰もがアクセス出来るように農村地帯に小規模のクリニックを多数設置したからである。また、タンザニアでは、教育への公的な支出を01年の2・1％から04年には4・3％に倍増させた。01年以降、初等教育の授業料を廃止し、就学率が急激に上昇した。
他方、中国では、病院や保険会社の

photo/UNDP

民営化が進み、無料の公的保健医療を段階的に廃止したところ、家計における医療費は40倍になり、乳幼児死亡率の低下傾向は減速してしまった。農村部で保険に加入しているのは、5人に1人だけである（＊注2）。

ＭＤＧｓの達成に好成績を上げている国々が、どのような政策を実行しているのか、更に分析し、「良い政策・戦略」を普及させていかなければならない。

＊注2：Oxfam International『公共の利益のために：万人のための保健医療・教育・水と衛生』2006

どのような取り組みが出来るか？

私が本稿で特に強調したいのは、「市民社会が大きな役割を担っていること」である。04年末に立ち上がった世界最大の市民社会組織の集合体で、約80カ国にネットワークを持つ「Global Call to Action against Poverty」（ＧＣＡＰ）は、貧困撲滅を国際社会の最優先課題にし、現在の世界経済や貿易の枠組みに存在する不平等を解消することで、貧困をなくすことを求める市民によるアドボカシー活動を展開している。ＧＣＡＰもやはり運動の根拠として「政府のＭＤＧｓへのコミットメント」を掲げている。

日本国内でのＭＤＧｓの認知度は高いとは言えない。しかし、日本もドナー国としてその実現に責務を負っている。日本の市民社会は、政府が約束を守ることを要求していかなければならないのである。私がＵＮＤＰでＭＤＧｓの啓発に携わっていた時には、日本でアドボカシー活動が発生する土壌はまだ無いのではないかと思っていた。だから、ＵＮＤＰを退職して日本に帰国した直後の05年に、日本で貧困に立ち向かう人々の連帯のシンボルである「ホワイト・バンド」がブームになった時にはびっくりした。ＧＣＡＰの日本版として立ち上がった「ほっとけない世界のまずしさ」が世界中のＮＧＯと協力してキャンペーンを敢行したのである。中田英寿や藤原紀香ら大勢のセレブがホワイト・バンドを身に付けて啓発フィルムに出演した。そして、ホワイトバンドは465万本も売れたのだという。しかし、残念なことにその背後にあるＭＤＧｓの理解はあまり深まらなかった。

07年7月、「ほっとけない世界のまずしさ」はＭＤＧｓを前面に出した啓発キャンペーンを始動させた。ＵＮＤＰと協力してＭＤＧｓのロゴやＴシャツを制作し、普及に努めている。7月14日付け『朝日新聞』でも取り上げられたので、ご覧になった方もいるかもしれない。なぜ、今のタイミングなのか？　来年5月に横浜で開催されるアフリカ開発国際会議（ＴＩＣＡＤ）、7月に洞爺湖で開催されるＧ8サミットに照準を合わせているからだ。世界経済や国際政治に圧倒的な力を持つ先進国の首脳が集まる洞爺湖サミットは、日

photo/UNDP

本が議題設定や討議の内容にリーダーシップを発揮し、何を優先課題と考え、何にコミットするのかというメッセージを世界に向けて発信するまたとない機会である。政府だけではなく、日本の市民社会がどのようなメッセージを発信するのかも、国際社会で大きな注目を浴びることになる。日本の市民は、G8諸国がグローバル経済の恩恵を独占せずに、途上国のMDGs達成にも責任を果たしていくこと、また日本がどのような形でMDGs達成に貢献していくのか、ということについても強いメッセージを発信したい。

具体的にはどんな取り組みが出来るだろうか？

■まずは「知る」こと。MDGsとは何なのか？　途上国は今どんな状況にあるのか？　日本を含む先進国に課された役割は何か？　今、日本ではMDGs達成に向けてどのようなアドボカシー活動が行われているのか？　ということを知ることが、自分に出来ること、自分の取り組みのエントリー・ポイントを探るヒントを与えてくれるのではないだろうか。

■「声を上げる」こと。日本でも、来年のG8サミットに向けて、MDGs推進を求めるアドボカシー・キャンペーンが展開される。「ほっとけない世界のまずしさ」や08年G8サミット／NGOフォーラムも啓発活動を展開し、政策提言を行う予定だし、国立政策研究大学院大学（GRIPS）が主宰する開発フォーラムが中心となり、開発の専門家、研究者、実務者の有志が集まって、より効果的なODAを実現するための提言が発表される予定である。それらの提言により多くの支持の声が集まることで、政府の政策変更は可能になる。国際協力やMDGsは「票にならない」ので、日本での政治的リーダーシップはなかなか確立されないという状況をぜひアドボカシーの力で好転出来れば、と願っている。

■「自分の能力やライフ・スタイルに合ったかかわり方をする」こと。政府や開発コミュニティーだけでMDGsを推進するには限界がある。今こそ、市民社会の「声」の力や、民間で出来るイノベーティブな活動が必要とされている。MDGs達成のための資金をNGOや国際機関などに寄付すること、自分の関心のある分野で活動するNGOでボランティアをするといったことから、例えば、企業であればMDGsの達成に主眼を置いたCSR事業を行ったり、企業が持つ専門性、ノウハウ、技術を途上国に提供することもMDGsの推進に大きな効果をもたらすだろう。MDGsを実現させるための原動力は、市民社会が担っていると言っても過言ではない。来年、日本は国際社会の注目を浴びるだろう。その時に、私たち日本人がMDGsを重要な課題ととらえ、達成に向けての努力を惜しまないことを世界中に表明したい。全国に張り巡らされているライオンズクラブのネットワークは、MDGsの認知度を向上させ、世界中の市民と連帯してアドボカシー活動を行うための貴重なプラットフォームになるのではないかと期待している。

目標1：極度の貧困と飢餓の解消

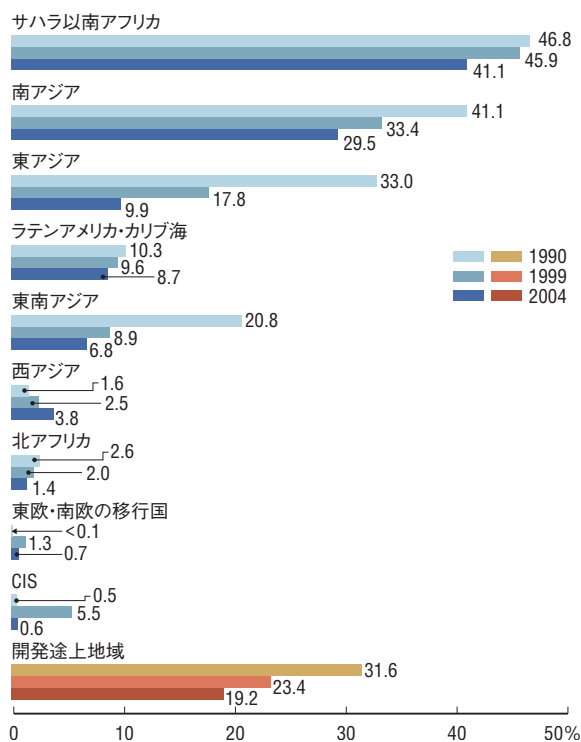
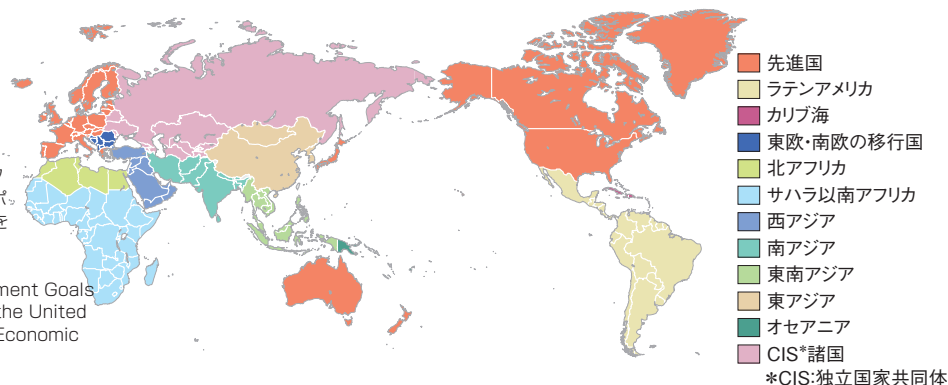
■地球上では6.5人に1人が1日1㌦未満で生活
■7人に1人が慢性的な飢えに苦しんでいる
■途上国では5歳未満の子どもの4人に1人が栄養不良

貧困により十分な栄養を得られず、適切な教育や保健医療を受けられず、安定した職に就けないという困難に、今なお多くの人々が直面している。慢性的な飢餓の割合は減少を示してはいるが、実際の人数は増加している。人口増加に対して農業生産高が向上していないこと、また紛争や災害も原因となっている。

P10～17のデータとグラフは「ミレニアム開発目標リポート」2005、2007年版を基に作成した
出典：
The Millennium Development Goals Report 2005,2007, by the United Nations Department of Economic and Social Affairs

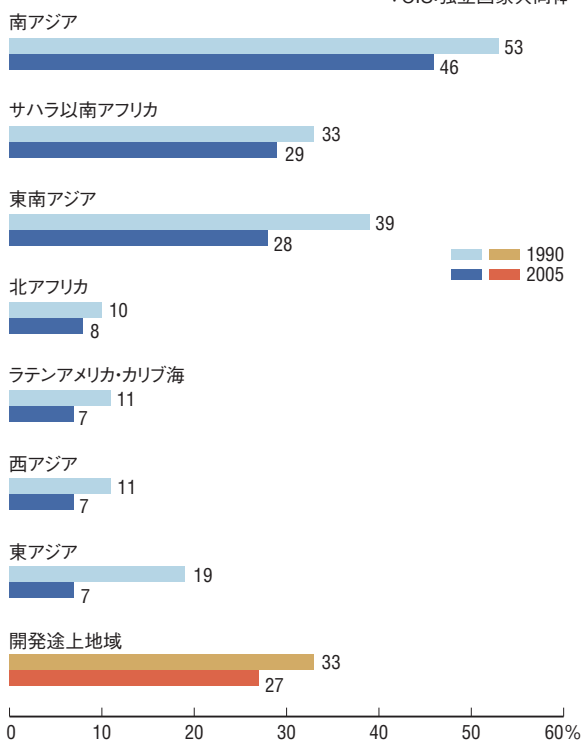
先進国
ラテンアメリカ
カリブ海
東欧・南欧の移行国
北アフリカ
サハラ以南アフリカ
西アジア
南アジア
東南アジア
東アジア
オセアニア
CIS*諸国
*CIS:独立国家共同体

地域	1990	1999	2004
サハラ以南アフリカ	46.8	45.9	41.1
南アジア	41.1	33.4	29.5
東アジア	33.0	17.8	9.9
ラテンアメリカ・カリブ海	10.3	9.6	8.7
東南アジア	20.8	8.9	6.8
西アジア	1.6	2.5	3.8
北アフリカ	2.6	2.0	1.4
東欧・南欧の移行国	<0.1	1.3	0.7
CIS	0.5	5.5	0.6
開発途上地域	31.6	23.4	19.2

0 10 20 30 40 50%

グラフ1：1日1㌦未満で暮らす人々の割合

途上国全体では1990年の12億5千万人から2004年には9億8千万人に減少した。アジア地域で劇的な減少を見たが、西アジアでは同時期に貧困率が倍増。最大の貧困層を抱えるサハラ以南アフリカの減少は鈍く、極貧層の所得は更に低下している

地域	1990	2005
南アジア	53	46
サハラ以南アフリカ	33	29
東南アジア	39	28
北アフリカ	10	8
ラテンアメリカ・カリブ海	11	7
西アジア	11	7
東アジア	19	7
開発途上地域	33	27

0 10 20 30 40 50 60%

グラフ2：5歳未満の体重不足児の割合

開発途上地域では1億5千万人以上、特に南アジアでは5歳未満の子どもの半数が体重不足に陥っている。飢餓状態にある人々は東アジアで激減、途上国全体でも減少したが、サハラ以南アフリカと南アジアでは数千万人規模で増加している

国内NGOの活動例

貧困を終わらせ、飢餓を生むしくみを変えよう

ハンガー・フリー・ワールド（HFW）
www.hungerfree.net/

現在、世界の食糧援助は年間約750万トン。その一方、日本では毎年、2千万トンの食べ物が廃棄されている。世界人口65億人のうち8億5千万人が飢えにあえぐ一方、肥満人口は15億人に達するとも言われている。

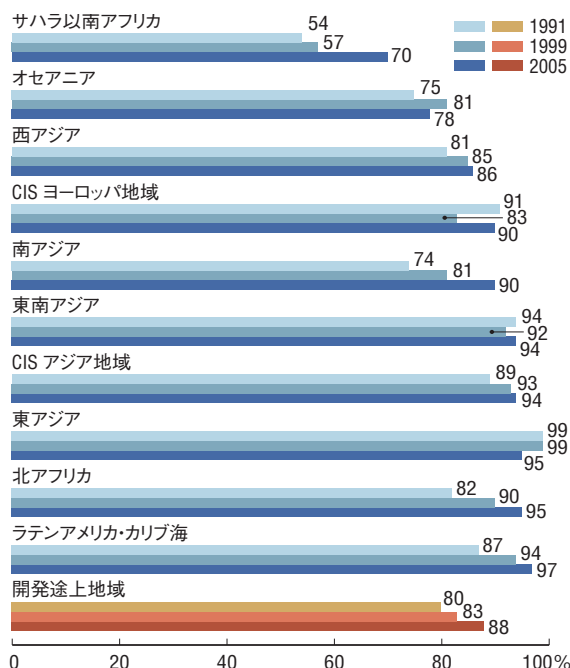
そんな矛盾の中、「飢餓のない世界を創る」ことを目標とするハンガー・フリー・ワールド（HFW）では、海外の貧しい地域で開発事業を実施すると共に、国内で啓発活動を行い、飢餓に直面する人々を支援している。HFWが事業を展開中なのはバングラデシュ、ウガンダ、ベナン、ブルキナファソの4カ国。特にバングラデシュでは3郡40カ村で開発事業を実施、農業訓練センターや職業訓練地域開発センターを運営する他、養蜂事業を始め収入創出のための活動などを行っている。

国内での啓発活動として注目されるのが、HFWが作ったエンディング・ハンガーというゲーム。これは大きな世界地図の上で12の国や地域の住人となり、各国のデータをもとに世界の現状を認識するもので、それぞれが話し合い、支援し合って、よりよい世界を創っていく。

世界には貧困や飢餓があるということ、貧困をなくし飢餓を終わらせるには仕組みから変えないといけないこと、それを理解し認識するには、とてもいい方法だ。青少年育成を兼ねて小学校などで実施したら、複合的な効果が期待出来るだろう。

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド
東京都千代田区飯田橋3・11・24
笹岡ビル3階（〒102・0072）
TEL：03・3261・4700
FAX：03・3261・4701
Eメール：hfwoffice@hungerfree.net

目標2：普遍的初等教育の達成

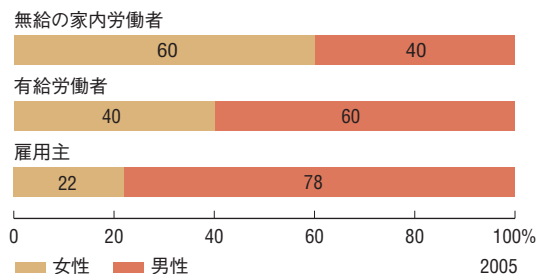
■開発途上国では8人に1人の子どもが学校に通えない
■6人に1人の大人が読み書きが出来ない
■学校に通えない割合が高いのは、農村の子、貧しい家の子、女の子

どのような生活を送るかを選ぶ機会を与えるのが教育である。すべての子どもが男女の区別なく教育を受けることで仕事や生活の選択肢が広がる。子どもの教育が、貧困や飢餓をなくすことの鍵となる

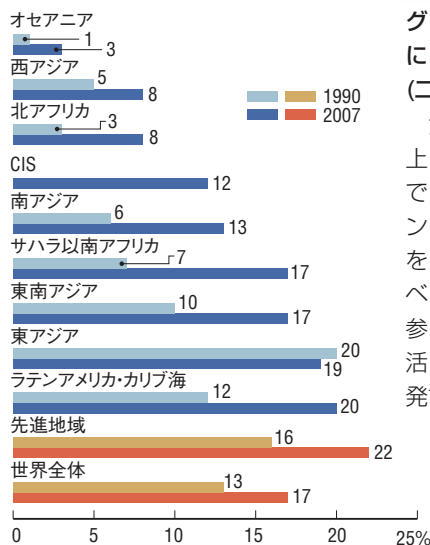
グラフ3：初等教育の就学率

5つの地域で完全普及に接近している。サハラ以南アフリカでは70%の子どもしか学校に通えず、更に最終学年に進むのは半数。2005年、小学校に通えない子どもは7,200万人で、うち女児が57%を占めた

目標3：ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上

■非識字者の3分の2は女性。女性の雇用は男性の3分の2にとどまっている
■女性の国会議員は全世界の国会議員のわずか17%

ジェンダーとは社会的、文化的な性を表す言葉。いまだ多くの地域でジェンダー格差が残る。女性が教育を受け、結婚や出産についても意見を発することで、より良い社会を作る主体となることが出来る

グラフ4：地位別雇用全体に占める女性の割合

男性に比べ女性は識字率が低く、無給労働に従事せざるを得ないことが多い。賃金労働でなければ社会保障も得られない

グラフ5：国会議員に占める女性の割合（二院制の場合は下院）

女性議員が30%以上を占めるのは世界で19カ国。女性のエンパワーメントの鍵を握るのは、家庭レベルから女性の政治参加まで、自らの生活にかかわる決定に発言権を持つこと

国内NGOの活動例

コミュニティーの意識向上で実現した女子教育

ケア・インターナショナル ジャパン
(CARE)
www.careintjp.org/

女の子は低学年程度の教育で十分……。カンボジアでは児童の就学率が改善しつつあるが、貧しい家庭では依然として教育に対する理解が十分でない。特に女子は労働力として家族を支える役割を担わされ、学校に通えなかったり、途中で退学するケースも多い。

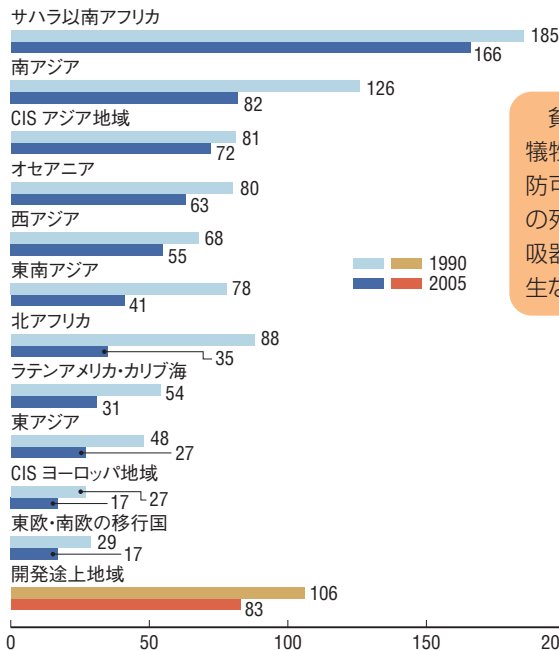
ケア・インターナショナル ジャパン(CARE)は地域住民の意識を変え、地域の人々が運営にかかわることで、女子教育の機会を広げている。カンボジアのメコン川下流域の最貧地域で実施した「サマキクマール」(クメール語で「子どもたちの結束」)プロジェクトは、退学率の高い小学校高学年の女子を対象に奨学制度を設け、また、就学出来なかったり退学した女子には識字教室で学ぶ機会を提供。ワークショップなどを通じて、親や住民たちに教育の重要性への理解を広め、地域の人々が積極的に関与して教育を支える仕組みを作り上げた。識字教室では読み書きだけでなく、教材にコミュニケーションなどのライフ・スキルや保健衛生の情報を盛り込んだ。

このプロジェクトによって、教育を受けた女子だけでなく、コミュニティーにも自信が生まれた。ネットワークや信頼関係も構築されて、地域の自立発展に向けて成果を上げている。これをモデルに、今秋にはタイ国境に近い地域で青年期の男女を対象に新たな教育事業に取り組む予定だ。

財団法人ケア・インターナショナル ジャパン
東京都豊島区雑司ヶ谷2-3-2
(〒102-0072)
TEL:03-5950-1335
FAX:03-5950-1375
Eメール:info@careintjp.org

目標4：乳幼児死亡率の削減

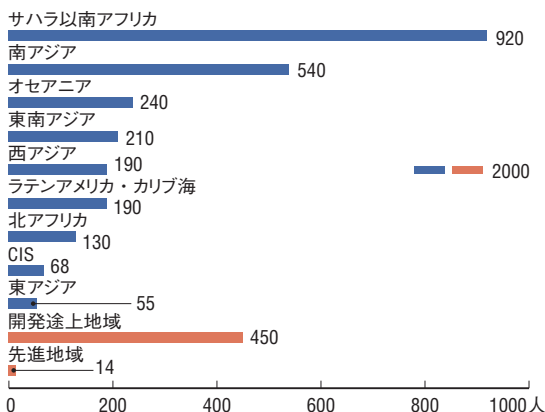
■毎日3万人の子どもが予防可能な病気により5歳の誕生日を迎えられずに命を落とす
■アフリカ・シエラレオネでは4人に1人が5歳未満で死亡

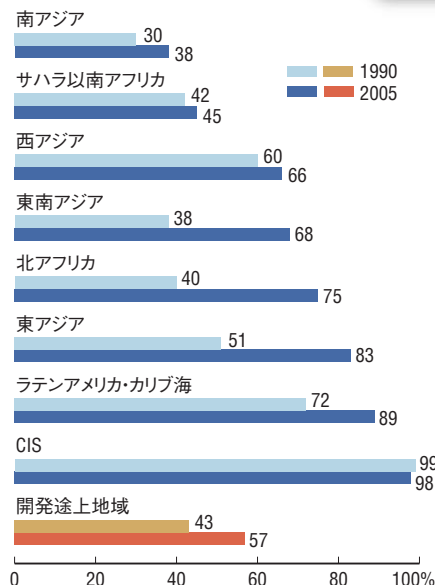
貧困、疾病、不安定な社会、真っ先に犠牲になるのは子どもと女性である。予防可能な疾病で年間1千万人の乳幼児が死亡。5歳未満児の死亡原因で最も多いのは出産前後の死亡、次いで急性呼吸器系感染症、下痢、マラリア、はしか。栄養不良や不衛生な環境、安全な水の不足が大きく影響している

グラフ6：出生千人当たりの5歳未満死亡数

死亡原因の第1位は、母体の健康管理の不十分や熟練助産師の不在などの不適切な出産である。死亡の過半数は栄養不良と関連している。サハラ以南アフリカでの死亡児が全体の40%を占め、エイズの蔓延が大きく影響している

目標5：妊産婦の健康の改善

■1分間に1人の女性が妊娠または出産中に命を落とす
■母親を亡くした子どもが生後2年以内に死亡する確率は両親健在の場合の10倍にもなる

年間に50万人の妊産婦が亡くなり、その99%が途上国で起きている。妊娠や出産で重傷や障害を負う女性は死亡数の20倍にも上る

グラフ7：出産10万件当たり妊産婦死亡数

先進地域の妊産婦死亡数は7千人に1人なのに対し、サハラ以南アフリカでは100人に1人。1人当たりの出産数が多い国では、何度も危険にさらされることになる

グラフ8：熟練助産師が付き添った出産の割合

南アジア及びサハラ以南アフリカでは低迷。ラオス、スリランカなどではプライマリー・ヘルスケアの強化により妊産婦死亡率が激減した

国内NGOの活動例

放置されていた自転車が、命を運ぶ足になる

ジョイセフ（JOICFP）
www.joicfp.or.jp/

乳幼児や妊産婦死亡の大きな原因の一つなのに、公の統計には現れないものがある。「手遅れ」がそれ。

貧しい生活だ。医者に診せなくては、と思うのは既に相当悪い状態だ。でも診療所は10キロも20キロも離れている。交通手段はない。あるいはバス代がない。そうしたら歩くか、さもなくば「あきらめる」しかない。

ジョイセフは母子保健の推進活動の一つとして、再生自転車の海外寄贈を行っている。日本各地から寄せられた中古自転車が命を運ぶ足となる。

自転車は村人たちの総意で選ばれた保健ボランティアに寄贈される。自転車は非常に高価なもの。一家の年収にも匹敵する。外国の組織からその貴重品を託される彼らは、村人から厚い尊敬と信頼を寄せられる存在となる。

さて、妊娠の場合、病気ではないから、あるいは家庭の中でお嫁さんの地位は低いから、具合が悪いと訴えても診療所に行かせてもらえない。そんな時でも、かの保健ボランティアが「医者に診せろ」と言えば許されるのだ。

再生自転車は薬の配達や情報伝達、助産師の家庭訪問にも利用され、「二輪救急車」「走る回覧板」「神様の贈り物」とも呼ばれてたくさんの命をつないでいる。

乳幼児や妊産婦の死亡は知識の欠如や古い因習にも起因する。ジョイセフでは啓発事業や助産師の育成にも取り組む。また、世界80カ国以上のNGOや国際援助機関が参加する、母子の健康と命を守る「ホワイトリボン運動」を促進している。

財団法人ジョイセフ
東京都新宿区市谷田町1-10
保健会館新館（〒162-0843）
TEL：03-3268-5875
FAX：03-3261-4701
Eメール：info@joicfp.or.jp

目標6：HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止

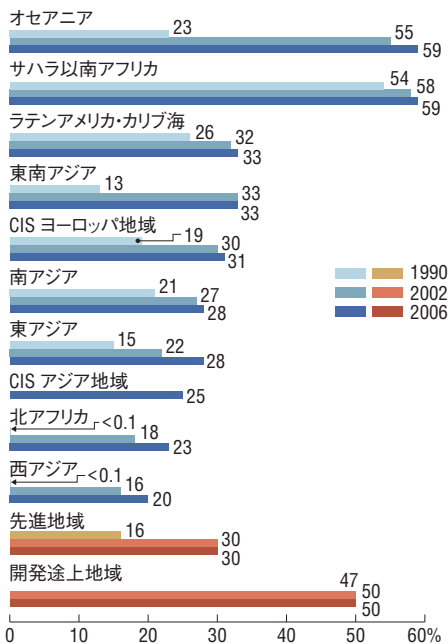
■2006年には新たに430万人の感染が報告され、感染者数は3,950万人に
■1日当たり約8千人がエイズにより死亡している
■サハラ以南アフリカでエイズが早死の最大原因に
■毎年3億5千万～5億人がマラリアに感染し、死者は100万人に上る

エイズ：2006年には新たに430万人の感染が報告され、感染者数は3,950万人。年間290万人、1日当たり約8千人がエイズにより死亡している。特にサハラ以南アフリカでは7人に1人が感染、中には成人の4人に1人が感染者という国も。エイズ孤児も1,520万人に拡大、そのうち80%がアフリカに集中している。また蔓延と共に女性感染者の割合が増え、生理学的そして社会的理由から更なる拡大が予想される。完治の方法がないHIV/エイズへの対処は予防が鍵となる。治療やケアと共に教育に重点を置いた取り組みが成されている

マラリア：多くの開発途上国では風土病となっており、マラリアによる死者のうち90%をサハラ以南アフリカが占めている。殺虫処理を施した蚊帳の配布によって効果が現れつつあると共に、薬に対する耐性を備えた蚊にも効く新混合薬が広く出回るようになり、40カ国で投薬による治療が義務づけられた

結核：2005年には160万人が結核で死亡、その多くは働き盛りの人である。HIV感染も結核やマラリヤの蔓延を助長している。耐性結核菌が出現する一方、国際的に推奨される治療戦略「DOGS」を受けた患者は80%が完治している。結核対策を加速させるには特に南アジアとアフリカで患者の把握と治療を推進する必要がある

地域	1990	2002	2006
オセアニア	23	55	59
サハラ以南アフリカ	54	58	59
ラテンアメリカ・カリブ海	26	32	33
東南アジア	13	33	33
CIS ヨーロッパ地域	19	30	31
南アジア	21	27	28
東アジア	15	22	28
CIS アジア地域			25
北アフリカ	<0.1	18	23
西アジア	<0.1	16	20
先進地域	16	30	30
開発途上地域	47	50	50

（0 10 20 30 40 50 60%）

グラフ9：15歳以上のHIV感染者に占める女性の割合

女性は性的関係で弱い立場にあることから、感染の危険が高くなる。若年層への拡大も深刻で、06年の新たな感染者（15歳以上）のうち4割が15～24歳だった

国内NGOの活動例

人類の未来にかかわる問題にどう取り組むか

ジョイセフ（JOICFP）
www.joicfp.or.jp/

アフリカではエイズの蔓延は日々深刻化している。ジョイセフでは、家族計画や感染症予防に加え、HIV／エイズについての啓発教育を強化している。

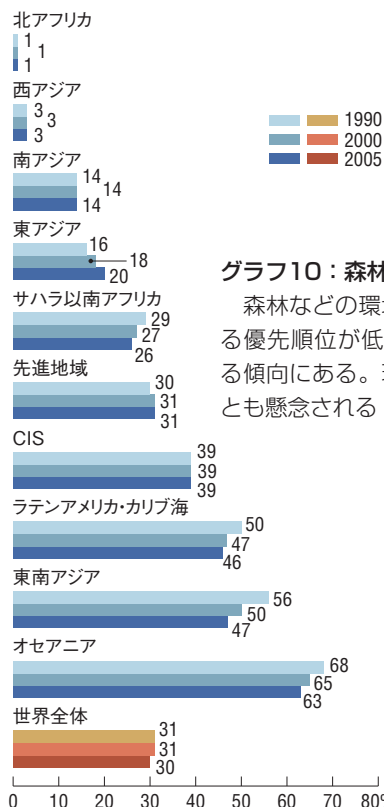
エイズ予防の教材となる紙芝居は、村人が自分たちで作ることを指導。エイズによる数々の悲しい死に直面する少女の話を通じて、また歌や音楽なども活用して知性と感性の両方に訴える。保健ボランティアを中心に村ぐるみでエイズ対策に取り組めるようにした。

知識や情報の提供だけではなかなか健康の向上に結びついていかない。一人ひとりに「行動変容」を起こさせることに重点を置く。

更に国内で、途上国の現状と共に、日本でもHIV感染者が増加しているという事実を認識し、人類すべての未来にかかわる問題として取り組むことを訴えている。

目標7：環境の持続可能性の確保

■2000年までの10年間に日本の国土の2.5倍に当たる面積の森林が減少
■1万種以上の生物が絶滅の恐れにさらされている
■下水道などの基本的な衛生施設を利用出来ない人は26億人
■開発途上国では都市部住民の3人に1人に当たる10億人がスラムに居住

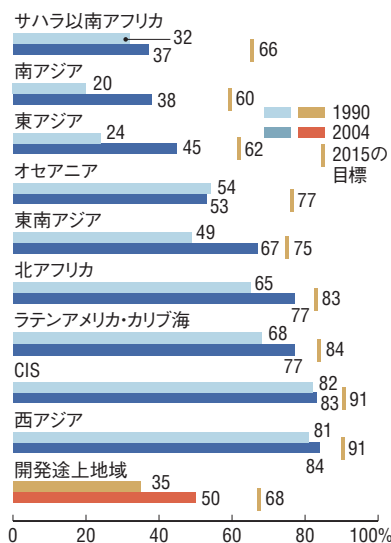
環境の持続性とは、天然資源を賢く利用し、命の源である複雑な生態系を保護すること。環境破壊の多くは先進国の経済成長の過程で生じたものだが、その影響を最も強く受けるのは途上国、中でも農村の貧困層だ。破壊を食い止めるためには、資源を枯渇させない持続可能な開発への理解を広め、エネルギーを大量消費する先進国の生活様式を変えなければならない

グラフ10：森林面積の割合

森林などの環境保護の取り組みは途上国における優先順位が低く、当面の利益追求により悪化する傾向にある。環境の悪化が新たな貧困を生むことも懸念される

	1990	2000	2005
北アフリカ	1	1	1
西アジア	3	3	3
南アジア	14	14	14
東アジア	16	18	20
サハラ以南アフリカ	29	27	26
先進地域	30	31	31
CIS	39	39	39
ラテンアメリカ･カリブ海	50	47	46
東南アジア	56	50	47
オセアニア	68	65	63
世界全体	31	31	30

0 10 20 30 40 50 60 70 80%

グラフ11：衛生設備を利用出来る人々

途上国全体では80%の人々が安全な飲み水を利用出来るようになった。しかしサハラ以南アフリカでは紛争や政治不安により40%の人々がこれを阻まれている。衛生施設は途上国の半数の人々が利用出来るようになったが、サハラ以南アフリカと南アジアでの整備が遅れている。スラムでも安全な水や衛生設備の普及率が極めて低い

目標8：グローバル・パートナーシップの推進

■ODAの国連目標を達成した先進国はわずか5カ国
■世界の全失業者1億9,500万人のうち半数を若者が占める

途上国が健全な経済の確立、自国の開発、人間と社会のニーズへの取り組を進めるためには、先進国は資金協力に加え貿易障壁の撤廃や医薬品の提供、債務問題の解決などさまざまな支援を行う必要がある。両者の間のグローバル・パートナーシップ確立によってMDGｓ達成が実現出来るのである

ODA：先進国からの政府開発援助（ODA）について国連目標では国民所得の0.7%としているが、これを達成している国は、デンマーク、ルクセンブルク、オランダ、ノルウェー、スウェーデンの5カ国に過ぎない（日本は0.2%）
途上国産品の免税：先進国は途上国からの輸入品への免税を拡大し、7割以上を無税で受け入れるようになった

GSB：国連開発計画（UNDP）の「持続可能なビジネス育成」プログラム。企業が商業的利益を享受し、同時に途上国の貧困削減に役立つ企業主導の「解決策」を促すもの。タンザニアでのナッツ油の供給・販売網の確立（投資額60万㌦）、農村部の電化（投資額2,300万㌦）他、数多くの投資の実現につながっている。欧米に比べ企業の社会貢献が遅れている日本でも現在、推進に向けて準備が進んでいる

photo/UNDP

まずは、知ることから始めよう

MDGs達成に向けて、個々のクラブにはどのような活動が可能だろうか？　独自に、あるいはNGOと協力して途上国への支援事業に取り組むことももちろんだが、まずは知ることから。自分たちが理解したら、地域の子どもたちや市民へと理解を広め、地域の人たちと共に具体的な支援活動に踏み出す。地域に根差し、世界に広がりを持つライオンズならではの取り組みを考えたい

MDGsをもっと理解するために

●国連開発計画（UNDP）東京事務所

人間開発（自由と尊厳をもって創造的な生活が送れるよう人々の選択肢を拡大すること）を活動理念とするUNDP。MDGsのキャンペーン・マネージャー兼スコア·キーパーとしてモニタリングや提言、啓発に取り組む。東京事務所のウェブサイトでMDGs日本語版パンフレットが入手出来る。
→www.undp.or.jp

●外務省／政府開発援助（ODA）

ODAのウェブサイトでは、MDGsを分かりやすく説明する紙芝居や、若い世代向けの開発教育用ハンドブック、各種パンフレットをダウンロード出来る。ハンドブックは冊子版も配布。
→www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/doukou/mdgs.html

●ほっとけない世界のまずしさ

一人ひとりの関心と行動によって貧困を生み出す仕組みを変えていくアドボカシー・キャンペーンを行っている。ウェブサイトには貧困への理解に役立つ記事やウェブ講座を掲載。オンラインショップではMDGs啓発のTシャツを販売している。
→www.hottokenai.jp/

●The official United Nations site for the MDG Indicators

国連のMDG指標ウェブサイトは、目標に対する各国の状況を図表で示している。英語ページのみだが、非常に分かりやすいビジュアルで過去からの推移も見られる。
→mdgs.un.org

国際理事だより

■国際理事
重松良次
（大阪府・茨木）

早いもので今号が発行される9月下旬には、私が国際理事に就任してもう3カ月近くが経過していることになります。

7月10日、国際大会と年度最初の国際理事会を終えて、シカゴから帰国致しました。理事会では各理事が所属する委員会が決まったのですが、私はデータも心づもりも何もない状態で、LCIF執行委員会の会計に指名され、これを務めることになりました。

7月末にはジミー・ロスLCIF理事長が来日され、名古屋と福岡の2カ所でLCIFセミナーが開催されました。LCIF理事長は前国際会長が就任されます。

日本を始め東洋・東南アジアの視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）に対する貢献度はすばらしいものです。世界全体の献金のうち、日本だけで40％、東洋・東南アジアとなると約60％を占めているのです。ロス理事長も日本ライオンズの多大なる協力に敬意を表して、日本を最初に訪問されました。それ程、日本は大事なエリアなのだと、何回も繰り返し訴え、感謝を述べられました。

国際理事会ではもう一つ、大会参加委員会に所属することになりました。私が2002年大阪国際大会でホスト委員会の事務局長を務めましたことから、この役を仰せつかりました。元国際会長であるジョセフ・L・ロブレスキー委員長や、国際本部のレニー・オービン大会部部長らと一緒に仕事をさせて頂きます。

今回のシカゴ国際大会の参加人数は1万4117人でした。今から思えば大阪大会は4万9060人という国際協会史上最多、なかなか敗れない記録で、驚異の参加人数だったと、昔を懐かしく思い起こしました。

テグ・フォーラム
目指そう参加者5千人

さて、10月12日から韓国・テグで第46回OSEALフォーラムが開催されます。日本の隣国であり非常に便も良いので、たくさんの参加者があることを祈っています。ステアリング委員会でも、日本からはぜひ5千人の参加をと、期待を寄せております。

テグは02年、サッカーのワールドカップ日韓共同開催の際、会場の一つとなった場所。この時使われた5万人収容の大きなスタジアムがフォーラムの開会式会場となります。釜山から車で約1時間、ソウルからは04年に開通した新幹線で1時間半程。落ち着いた静かな街という印象があります。ゴルフを楽しまれる方には、大会委員長が理事長をされているすばらしいゴルフ場も近くにございます。

来年の第91回国際大会はタイ・バンコクで開催されます。ホスト委員会委員長を務められるカジット・ハバナナンダ元国際会長、副委員長のソムサクディ・ロヴィス元国際理事が、PRのために幾度となく来日されています。こちらも代議員はもちろん一般登録の方にも一人でも多くご参加頂けましたら幸いです。

9月25日からはインドのデリーで第2回の国際理事会が行われます。またホットなニュースを皆様にお届け出来ると思います。

これからも皆さんと楽しいライオンズライフを過ごせることを祈って国際理事だよりと致します。

LIONS ROAR-R-R BANGKOK 2008

バンコク国際大会情報

［微笑みの国への誘い］

２００８年の第91回ライオンズクラブ国際大会は、タイの首都バンコクが舞台。６月23日から27日、世界各国のライオンズが微笑みの国に集います。アジアでの国際大会開催は日本（東京２回、大阪）、台湾（台北）、韓国（ソウル）、香港に続き７回目。同じ東洋・東南アジア（ＯＳＥＡＬ）地域の一員であるタイでの開催を機に、これまで国際大会に参加された経験のない方に、そしてもちろん経験豊富な方にも、ぜひ参加してほしいものです。

バンコク国際大会に向けて、このページでは大会に関連するさまざまな情報をお伝えしていきます。連載のスタートにあたり、バンコク国際大会のホスト委員会委員長であるカジット・ハバナナンダ元国際会長から日本のライオンズへメッセージが届きました。

親愛なる日本のライオンズの皆様へ

日本のライオンズ会員の皆様に、2008年6月23日から27日にタイ・バンコクで開催される第91回ライオンズクラブ国際大会へ参加されますようご招待することを、大変光栄に存じます。

この重要な催しのホスト委員長として、ホスト委員会が国際大会を成功させるために出来る限りの努力をすることをお約束致します。人口１千万を抱える世界的都市バンコクは、第一級のショッピング、おいしいタイ料理をお楽しみ頂ける上に観光に適した名所も豊富で、国際大会のような催しには格好な舞台であります。

更に、バンコクだけでなくタイ国内の他の都市も訪問されるよう皆様にお勧めします。大会の前後には時間をとられて、ぜひ、地方の観光地も訪ねてみてください。タイの本当の魅力を堪能して頂けるはずです。

日本のライオンズの皆様とバンコクでお会いする日を楽しみにしております。

2008年ライオンズクラブ国際大会
ホスト委員会委員長
元国際会長
カジット・ハバナナンダ

ライオンズ ニュースカセット

NEWS CASSETTE

横浜でCSFⅡチャリティー・ジャズ・コンサート

9月2日、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜国立大ホールで、横浜チャリティーJAZZコンサートが開催された。330・B地区(牧田健一ガバナー/神奈川・山梨)の国際理事支援委員会とCSFⅡチャリティー・コンサート実行委員会が主催。「キングライオンズVSヤングライオンズ」と題して日本ジャズ界の大御所と若手スターが競演し、第1部では若手を代表する人気ボーカリスト、小林桂がスタンダード・ナンバーの数々を披露。第2部は日本のビッグバンドの最高峰、原信夫とシャープス&フラッツがダイナミックな演奏で会場を盛り上げ、寺井尚子、阿川泰子、日野皓正ら豪華ゲストを迎えて観客を魅了した。

コンサートのチケットは1枚5500円で3800枚を売り上げ、出演者を代表して原信夫氏から伏見龍元国際理事へCSFⅡへの寄付金1万ドルの目録が手渡された。

復活した10月会員増強月間

国際協会はライオンズの長年の伝統だった10月の会員増強月間を復活させることを発表した。この1カ月間で重点的に新会員獲得に取り組もうというもので、会員候補者を例会に招待したり、イベントを企画するなどして会員増強を成功させるよう呼び掛けている。10月中に会員純増を果たしたクラブのうち各準地区のトップ3に「10月会員増強アワード」としてバナー・パッチが贈られる。10月の会員増強月間は、01年度の年間会員増強プログラム導入を機に廃止されて以来、6年ぶりの復活となった。

国別会員数トップ5

国際協会集計によると、2007年6月末現在、会員数の多い国トップ5は、アメリカ38万6804人(1万2952クラブ)、インド13万8929人(4868)、日本11万4868人(3386)、韓国8万1571人(1954)、イタリア4万9961人(1289)だった。このうちインドと韓国が1年間で2%強の会員増。対してアメリカは2・5%、日本は3・5%の純減だった。アマラスリヤ

国際会長の出身国スリランカは1万1750人（422）で、年間22・3%の伸びを見せた。

2006年度は会員数4297人純減

07年6月末のライオン誌集計によると、日本のライオンズは3390クラブ、会員数11万4775人で、06年度は4297人の純減となった。これは、75年頃の会員数に匹敵する。06年度は30年ぶりの12万人割れで期をスタート。10、11月には再び12万人を超え、6月に次いで退会者の多い12月にも期首比較200人増で折り返したものの、下半期に目立った会員増がないまま6月の大量退会となった。全33地区の中では唯一、333・A地区が年度内会員数純増（+4人）を果たしている。

なお、世界と日本の会員動静など、06年度の統計資料は本誌12月号に掲載する。

日本の女性会員は全体の6・9%

本誌の集計による07年6月末の日本の女性会員数は7891人で、会員全体の6・9%だった。期首からは0・5ポイント、268人の増加。女性会員の占める割合の多い準地区は、337・C地区12・7%、335・B地区10・6%、335・A地区10・3%、336・A地区10・1%で、4地区で10%を超えた。また、増加率が特に高かったのは334・B地区3・7ポイント、337・C地区2・2ポイント。2地区のみで200人強の純増を果たしている。上昇を続ける女性会員の一層の増強推進により、会員減少に歯止めが掛かることが期待される。6月末の世界の女性会員は23万5562人（18・3%）。アマラスリヤ国際会長は今年度、女性会員を全体の25〜30%に増やす目標を掲げている。

日本のクラブ別会員数トップ5

本誌6月末集計によると、日本の会員数最多クラブは、群馬県・高崎ライオンズクラブで160人だった。続いて長崎県・諫早センチュリアン（153人）、山梨県・南アルプス（147人）、静岡県・浜松（143人）、福岡県・田川（141人）。会員数が100人を超えるクラブは18クラブあった。日本全体の1クラブ当たりの平均会員数は34人。

視力ファースト、ライオンズクエスト交付金の承認

8月に開かれた視力ファースト諮問委員会で、視力ファースト交付金14件、623万6720ドルの交付が承認された。カーター・センターと共同でエチオピアで行うトラコーマとオンコセルカ（河川失明）症の抑制プログラム（312万5822ドル）や、マリ共和国における視力ファースト訓練プログラム（51万2041ドル）、インドにおける白内障検査・手術キャンペーン（4万件／73万1707ドル）など。

同じく8月開催のライオンズクエスト諮問委員会では、四大交付金5件、42万5千ドルの交付を承認。交付を受けたのは日本（337・C、D地区）、インド、ドイツ、リトアニア、アメリカ（テキサス州）で、それぞれライオンズクエスト・プログラムの導入や拡張に使われる。337・C、D地区は共同申請で交付金10万ドルを受け、同プログラムを導入するモデル校の開拓を目指す。

いずれの交付金リストも公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）の「ニュース／情報」欄に掲載。

メルビン・ジョーンズ・フェロー（MJF）

07年6月30日現在のMJF数は1万7139、累進MJF数は8634。

2006-07年度ライオン誌日本語版事務所決算公告

貸借対照表　単位：円　2007年6月30日現在

資産の部	299,623,763	負債の部	39,533,128
流動資産	(295,074,572)	流動負債	(22,194,881)
現金	19,563	未払金	20,440,484
普通預金	58,066,826	前受金	813,542
定期預金	220,000,000	預り金	940,855
郵便振替貯金	7,650,287		
未収入金	1,877,340		
貯蔵品	129,432		
頒布品	2,234,750	固定負債	(17,338,247)
前渡金	42,000	退職給与引当金	17,338,247
前払費用	1,677,317		
立替金	2,644,990		
仮払金	732,067		
		正味財産の部	260,090,635
固定資産	(4,549,191)	基金	130,000,000
有形固定資産	(794,087)	資料整備準備金	15,000,000
什器備品	794,087	事務改善等積立金	27,183,889
無形固定資産	(1,926,604)	為替差損準備金	44,039,956
電話加入権	239,200	未処分収支差額金	
コンピュータ･ソフトウェア	1,687,404	前期繰越収支差額金	35,539,633
その他の固定資産	(1,828,500)	当期収支差額金	8,327,157　43,866,790
差入保証金	1,828,500		
合計	299,623,763	合計	299,623,763

収支計算書　単位：円　自2006年7月1日　至2007年6月30日

収入の部			
科目／項目	予算額	決算額	差額
購読料収入	151,200,000	157,876,763	-6,676,763
国際会費還付金	79,200,000	86,228,163	-7,028,163
特別負担金	72,000,000	71,648,600	351,400
広告料収入	18,000,000	17,067,960	932,040
その他収入	5,285,000	4,490,259	794,741
頒布品収支差額	2,800,000	1,927,014	872,986
受取利息	35,000	73,888	-38,888
雑収入	2,450,000	2,489,357	-39,357
収入合計	174,485,000	179,434,982	-4,949,982
合計	174,485,000	179,434,982	-4,949,982

支出の部			
科目／項目	予算額	決算額	差額
直接出版費	102,430,000	98,189,230	4,240,770
印刷費	65,400,000	62,901,491	2,498,509
発送事務費	18,530,000	18,253,957	276,043
旅費交通費	5,800,000	5,355,335	444,665
取材費	600,000	439,756	160,244
原稿料・編集費	12,000,000	11,180,659	819,341
広告関係諸費	50,000	50,104	-104
雑費	50,000	7,928	42,072
委員会費	6,870,000	6,350,515	519,485
旅費交通費	6,570,000	6,207,901	362,099
会議費	100,000	75,277	24,723
雑費	200,000	67,337	132,663
事務費	70,867,000	66,568,080	4,298,920
人件費	39,920,000	39,004,648	915,352
福利厚生費	5,980,000	5,477,102	502,898
旅費交通費	1,570,000	1,259,910	310,090
通信費	1,920,000	1,612,167	307,833
備品費	300,000	173,232	126,768
事務用品費	1,570,000	979,354	590,646
図書費	50,000	17,950	32,050
消耗品費	60,000	23,443	36,557
IT関連費	2,060,000	2,066,095	-6,095
顧問料	851,000	850,500	500
支払手数料	120,000	104,855	15,145
保守･修繕費	780,000	766,029	13,971
借室料	9,216,000	9,215,640	360
水道光熱料	550,000	493,360	56,640
租税公課	1,000,000	548,274	451,726
減価償却費	1,000,000	541,667	458,333
退職給付費用	2,720,000	2,379,314	340,686
雑費	1,200,000	1,054,540	145,460
予備費	29,857,633		29,857,633
支出合計	210,024,633	171,107,825	38,916,808
当期収支差額金	-35,539,633	8,327,157	-43,866,790
合計	174,485,000	179,434,982	-4,949,982

2006-07年度日本ライオンズ連絡事務所決算公告

貸借対照表　単位：円　2007年6月30日現在

科目	金額	科目	金額
Ⅰ資産の部		Ⅱ負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	45,968	預り金	361,518
銀行預金	91,559,058	未払金	0
郵便貯金･振替(注1)	0	未払消費税(注2)	329,600
頒布品	24,394	流動負債合計	691,118
未収入金	317,700	2. 固定負債	0
仮払金	421,000	負債合計	691,118
前払金	0		
流動資産合計	92,368,120		
2. 固定資産		Ⅲ正味財産の部	
(1)基本財産		1. 指定正味財産	
銀行預金	50,000,000	基本金	50,000,000
基本財産合計	50,000,000	2. 一般正味財産	102,492,698
(2)特定資産	0	正味財産合計	152,492,698
(3)その他の固定資産		負債及び正味財産合計	153,183,816
敷金	5,724,000		
保証金	50,000		
電気設備	1,540,000		
電気設備減価償却累計額	△358,050		
什器備品	4,556,200		
什器備品減価償却累計額	△1,059,316		
OA機器類	866,534		
OA機器類減価償却累計額	△503,672		
その他固定資産合計	10,815,696		
固定資産合計	60,815,696		
資産合計	153,183,816		

注1）郵便貯金・振替口座は、2006年11月24日解約済。

注2）2005-2006年度（前年度）の会計処理は税抜き、2006-2007年度（当年度）は税込処理。

収支計算書　単位：円　2006年7月1日～2007年6月30日

科目	予算額	決算額	差異	執行割合
Ⅰ事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	42,480,000	42,896,520	△416,520	101.0
受取利息収入	5,000	81,427	△76,427	1,628.5
基本財産利息収入	12,000	32,000	△20,000	266.7
雑収入	0	0	0	-
CSFⅡ受け入れ収入	2,400,000	2,400,000	0	100.0
頒布品売り上げ収入	21,500,000	20,675,850	824,150	96.2
事業活動収入計	66,397,000	66,085,797	311,203	99.5
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
議長連絡会議費	1,500,000	957,968	542,032	63.9
委員長連絡会議費	800,000	850,528	△50,528	106.3
頒布品製作費・送料	21,000,000	18,914,094	2,085,906	90.1
②管理費支出				
管理委員会会議費旅費	3,000,000	2,990,186	9,814	99.7
国際大会･アジアフォーラム関係費	1,200,000	1,157,295	42,705	96.4
人件費	17,000,000	16,397,000	603,000	96.5
福利厚生費	2,900,000	2,791,476	108,524	96.3
印刷費	1,600,000	1,219,970	380,030	76.2
通信費	2,100,000	2,145,837	△45,837	102.2
旅費交通費	1,000,000	957,522	42,478	95.8
借室料水道光熱費	9,800,000	9,123,189	676,811	93.1
リース・レンタル料	1,050,000	926,131	123,869	88.2
事務用品費	450,000	176,260	273,740	39.2
図書費	100,000	52,596	47,404	52.6
顧問料	940,000	987,000	△47,000	105.0
支払手数料	200,000	155,670	44,330	77.8
雑費	200,000	183,644	16,356	91.8
租税公課	700,000	329,600	370,400	47.1
事業活動支出計	65,540,000	60,315,966	5,224,034	92.0
事業活動収支差額	857,000	5,769,831	△4,912,831	673.3
Ⅱ投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①投資活動収入	0	0	0	-
投資活動収入計	0	0	0	-
2. 投資活動支出				
②投資活動支出				
敷金支出	457,920	457,920	0	-
ソフト購入支出	2,000,000	0	2,000,000	0.0
投資活動支出計	2,457,920	457,920	2,000,000	18.6
投資活動収支差額	△2,457,920	△457,920	△2,000,000	18.6
Ⅲ予備費支出	0	0	0	-
当期収支差額	△1,600,920	5,311,911	△6,912,831	
前期繰越収支差額	86,365,091	86,365,091	0	
次期繰越収支差額	84,764,171	91,677,002	△6,912,831	

『ライオンズスクール中級編』の改訂

ライオン誌日本語版委員会発行の冊子『ライオンズスクール中級編～クラブ運営の基礎知識』（A4判／66ページ）は大幅な改訂作業を行うために、現在頒布を中止している。今回の改訂では各章にワークシートを加えるなど、クラブや地区のセミナーや研究会でより実践的なテキストとして使用出来るようにする。改訂版の発行は08年4月中を予定。

新結成／クラブ名称変更

■新結成クラブ

香川県・うたづ▼結成順位／3655▼5月10日結成▼近藤幹郎会長▼事務局／綾歌郡宇多津町浜二番丁19-7　35ビル　202号室（〒769-0202）TEL0877-56-7722▼スポンサー／丸亀

兵庫県・神戸テイア▼3656▼7月27日結成▼久保佳代会長▼事務局／神戸市東灘区住吉宮町7-3-27 Sala di shima内（〒658-0053）TEL078-811-9800▼スポンサー／神戸ホスト

■クラブ名称変更

秋田県・金浦→にかほ

兵庫県・夢前→姫路ゆめさき

岡山県・真備→倉敷真備

会議録

7月　8月　主な議題だけをまとめました

ライオン誌日本語版委員会

第1回会議は7月30日、ライオン誌日本語版事務所で開催され、①06年度ライオン誌日本語版委員会年次報告、②06年度ライオン誌日本語版事務所決算報告、③07年度ライオン誌日本語版委員会委員長、編集長互選、④未処分収支差額金処分、⑤07年度ライオン誌日本語版事務所予算、⑥「ライオン誌日本語版委員会方針」の確認、⑦8月号出来、⑧9月号記事内容の確認、⑨10月号以降台割と主要記事予定、⑩創刊50周年記念関連、⑪ウェブサイト関連、⑫オンライン報告システムServannA、⑬その他について協議した。

③委員長に松田毅委員(335)、副委員長に井村一男委員(337)、編集長に古谷野環委員(331)を選出。

⑨THEMEは10月号「ミレニアム開発目標（国際会長プログラム）」、11月号「女性会員」他。

国際理事候補者選挙管理委員会

第1回会議は8月1日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①委員長の互選、②国際理事立候補者推薦手続規則の確認、③08～10年国際理事選出の確認、④推薦要望を提出した国際理事候補者、⑤推薦要望書の内容確認と審議、⑥推薦投票要領の決定、⑦推薦投票にかかる費用の負担、⑧個人情報の取り扱い、⑨第2回会議（開票）について協議した。

①山本孜委員(335)を互選。

④提出された推薦要望書は2通、受付順で、ライオン杉本忠夫(331)、ライオン秦従道(332)。

⑨9月14日13～16時に行う。

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第2回会議は8月2日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①会議の進行について、②第1回国際理事候補者選挙管理委員会からの報告、③複合地区委員長連絡会議、全国共通会議の開催について、④新潟県中越沖地震支援（333複合地区提案）、⑤第46回OSEALフォーラム（韓国テグ）、⑥各委員長連絡会議・委員会報告について協議、⑦国際役員との懇談。

④333-A地区ガバナーの支援依頼文書を了承、古郡保郎議長世話人及び林護議長(333)連名で支援依頼を送付することを確認。

日本ライオンズ連絡事務所管理委員会

第5回会議は8月6日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①06・07年度会計報告、②会計監査立ち会い、③07・08年度収支予算書試案、④その他報告事項について協議した。

訃報

ライオン松丸善次郎（千葉県・下総中山）
7月29日死去、85歳。69年入会。93年度333-C地区ガバナー。献眼。

ライオン栗原太郎（北海道・北見）
8月9日死去、82歳。62年入会。97年度331-B地区ガバナー。

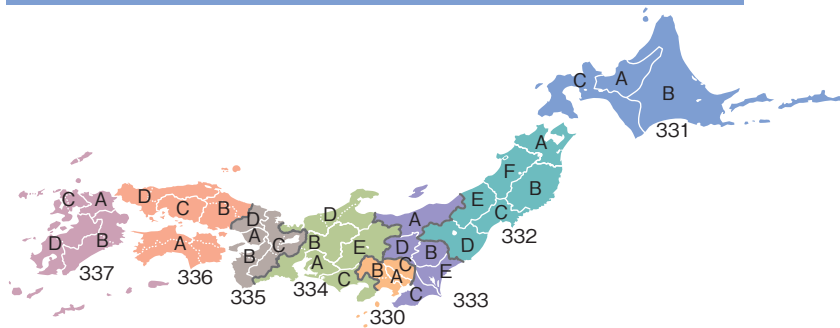
ライオン尾池希雄（熊本）
8月20日死去、67歳。73年入会。04年度337-D地区ガバナー。

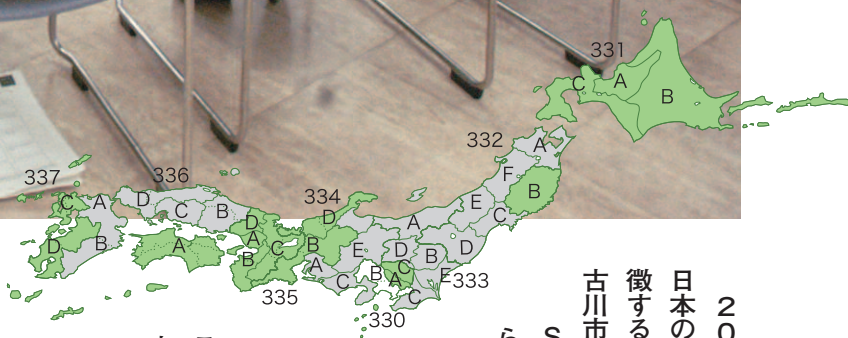
日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

世界のライオンズ

2007.6.30 国際協会集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
ライオンズ国または領域　200	44,920	1,290,003	-13,022

日本のライオンズ

2007.7.31 各キャビネット事務局集計	■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330-A 東京	204	-3	5,341	92
330-B 神奈川・山梨・東京	191	-2	5,519	22
330-C 埼玉	104	0	2,872	17
330 計	499	-5	13,732	131
331-A 北海道（道央）	77	0	2,760	5
331-B 北海道（道北・道東）	95	-1	2,911	37
331-C 北海道（道南）	61	-1	2,012	5
331 計	233	-2	7,683	47
332-A 青森	68	-1	2,055	19
332-B 岩手	56	0	1,802	26
332-C 宮城	83	1	1,680	-7
332-D 福島	77	0	2,201	22
332-E 山形	57	0	1,974	9
332-F 秋田	53	0	1,463	10
332 計	394	0	11,175	79
333-A 新潟	80	-1	2,995	22
333-B 栃木	56	0	1,394	25
333-C 千葉	131	0	3,542	24
333-D 群馬	56	0	2,102	32
333-E 茨城	80	0	2,852	26
333 計	403	-1	12,885	129
334-A 愛知	118	0	5,875	41
334-B 岐阜・三重	87	0	4,022	25
334-C 静岡	84	0	3,498	24
334-D 富山・石川・福井	100	0	4,349	38
334-E 長野	53	-2	2,274	7
334 計	442	-2	20,018	135
335-A 兵庫（東）	106	0	2,915	52
335-B 大阪・和歌山	204	0	6,959	62
335-C 滋賀・京都・奈良	123	0	4,607	37
335-D 兵庫（西）	66	0	2,270	20
335 計	499	0	16,751	171
336-A 徳島・高知・香川・愛媛	156	1	6,338	20
336-B 鳥取・岡山	101	-1	3,704	20
336-C 広島	106	0	4,060	43
336-D 島根・山口	109	0	3,674	9
336 計	472	0	17,776	92
337-A 福岡・長崎	120	0	4,976	57
337-B 大分・宮崎	88	0	2,823	28
337-C 佐賀・長崎	85	0	3,241	-10
337-D 熊本・鹿児島・沖縄	143	-2	4,545	34
337 計	436	-2	15,585	109
総計	3,378	-13	115,605	893
世界のライオンズの	7.5%		9.1%	

ライオンズクエスト2007

ツプ・ラッシュの夏

2007年8月25日。この日は、日本のライオンズクエスト事情を象徴するような1日だった。兵庫県加古川市で公募型ワークショップ（WS）が開会した頃、加古川から北へ約30キロの加西市では校内型WSが2日目を迎えていた。更に瀬戸内海を挟んだ徳島でも公募型WSが開かれた。同じ日に三つものWSが開催されるなど、数年前には考えられなかったことだ。現在、LCIF四大交付金を使ってライオンズクエスト・プログラムを導入している日本の地区は15（上記地図参照）を数える。そして、夏休み期間の7、8月には全国20カ所でWSが開催された。熱暑で話題になった2007年夏は、ライオンズクエストの夏でもあった。

初年度予算は5千円

「これからの子どもたちには『生きる力』を育むことが必要になります」

8月25日、加古川市で開催された335-D地区のワークショップで参加者にあいさつをする角田地区ガバナー

ワークショ

3年前、加西市立泉中学校のPTA副会長を務めていたライオン小川初男は、ある日、校長からそんな話を聞いた。「生きる力」って、具体的にはどんなことなんだろう？　そう思ったライオン小川は、インターネットで「生きる力」を検索してみた。すると「ライフスキル」という言葉に行き当たった。が、余計、分からない。

そこで更に検索を重ねると、今度は「ライオンズクエスト」という言葉が出てきた。どうやら、自分が所属しているライオンズクラブが関係しているらしい。

ライオン小川は加西ライオンズクラブ会長の了解を得て、本格的にライオンズクエストのことを調べ始めた。やがて、LCIFから日本でのプログラムの管理を委託されている青少年育成支援フォーラム（JIYD）の存在を知り、ここから詳しい情報を得ることが出来た。

また、JIYDでライオンズクエストやライフスキルについて説明したパンフレットを作っていることを聞き、50部の購入をクラブに打診。理事会で了承され、購入費として5千円の予算を付けてもらった。

ちょうどその頃、『ライオン』誌日本語版にライオンズクエストの特集記事が掲載され、クラブの理解は一気に深まった。そこでライオン小川は次のステップとして、泉中PTA会長に就任する次年度に、JIYDの協力を得て同校でライオンズクエストの体験会を開催する企画を立てた。クラブでも後押ししてくれ、2年目の予算15万円が承認された。

また、パンフレットを見て関心を持った、加西市立北条中学校校長から、職員研修として同中でも体験会をやってもらえないか、と要請があった。クラブでは追加予算も含めこちらも了承。2006年8月に北条中、同10月に泉中で体験会を開いた。

更に地区から、同プログラム導入に向けての話があり、加西ライオンズクラブ（橋爪義明会長／35人）の動きが加速。各方面との折衝の末、この8月24～25日、北条中22人を中心に市内32人の先生の参加による、335-D地区初の校内型ワークショップ開催にこぎつけたのである。

335・D地区の快進撃

2007年1月、ライオンズクエスト諮問委員会で335・A、B、D3地区が合同で申請したLCIF四大交付金が承認された。2月には早速、3地区合同でWSを開催。更に335・D地区(角田勇ガバナー/兵庫県西)中心のWSを、8月24~25日に加西(校内型)、25~26日に加古川(公募型)で実施した。

同地区は2005・06年度、大辻利弘地区ガバナーの時にプログラムの導入を検討し始めた。大辻ガバナーから任命された宮崎正己ライオンズクエスト委員長(中ライオンズクラブ)は、自分が完全にプログラムを理解した上で、同地区内の30市町に出向き教育長と面談。生徒指導の一つとして、プログラムの採用を検討するよう要請した。

第2段階は、その中で反応の良かった市町をターゲットにした体験会の開催で、これは地元ライオンズの協力を得ながら推進した。既に第2リジョン、第3リジョンは順調に展開しており、体験会やWSが重ねられている。

同地区のプログラムはLCIF四大交付金の承認からさほど時間は経っていないが、2年以上前から動いていたこともあり、早くも成果が出始めている。その一つは昨年12月、全教員向けのセミナーを開催した多可町教育委員会が、内容を評価し、4月からのプログラム導入を決めたこと。また、前述の加西市での活動も明るい事例だ。更に大辻元ガバナーの地元・加古川市でも公募型のWSが開催され、こちらは教育委員会

が全面的に協力してくれ、当日は教育長や教育委員長もWSを見学した。「プログラムに対しては県の教育委員会からも認められ、WSの後援を得ています。市町村レベルで体験会などを開催する場合も必ずその教育委員会を絡めています。これは校長を始め学校側が、プログラムを受け入れやすい環境を作るためです。また宮崎委員長のアイデアで体験会には、他の地域のライオンズや教育関係者を招いています。これにより、自然と次へ次へとつながっています。まだ三つのリジョンが手つかず状態ですが、宮崎方式で、必ず今年度中には全地区的にプログラムが広がると確信しています」

と、角田ガバナーは話している。

クラブ活性化のヒント

現在、335‐D地区に限らず、ライオンズクエスト・プログラムは急速に日本の各地区に浸透している。例えば過去5年間のWS開催回数を見てみると、03年度6回、04年度10回、05年度19回、06年度36回と倍々ゲームのように伸びており、今年度は既に終了した20回を含め48回が予定されている。5年前には半年に1回だったものが昨年度は月3回、今年度は4回という状態だ。

特に教師の時間が取れる夏休みはライオンズクエストにとっては、普及活動のかき入れ時。この7月、8月のWSは20回、一度WSを受講した先生のフォローアップが4回、ライオンズや教育関係者、PTAなどを対象とした体験会が18回と、2カ月弱の間に、日本全国で実に延べ62日もの事業に実施された。

プログラムの、こうした急速な進展の理由は、新学習指導要領が「生きる力」を最優先にしたことで、教育界全体にライオンズクエストを受け入れる下地が出来上がったことがあるだろう。また、これまで地区レベルで検討を続けていたものが、LCIF四大交付金の承認と共に形となり、大きく展開が図られたことも要因となっている。

が、その一方、各地区が体験会や説明会、あるいはWSの開催を希望しても、講師や説明のためのスタッフが不足しているという現実がある。これは、あまりにも急激に四大交付金導入地区が増えたためだが、今後はこの辺りをJIYD任せにせず、各地区が協調して日本レベルで対処することが必要になってこよう。

現在、334‐B地区や334‐D地区では、プログラム説明員を設置し、地区独自で体験会や説明会を企画、実施している。説明員制度は今年から発足したもので「ライオンズの推薦、WSの修了、LCIF認定講師もしくはJIYDスタッフによる体験会参加」という資格・要件を満たした人なら誰でも登録出来る。プログラムの底辺を広げるには、有効な制度だろう。各地区で活用していくことが期待される。

最先端技術を利用して

エリン・クラウチ

温度差を映し出す映像が、消防隊員に救助を待つ犠牲者の場所を教える。真空成形された複製品に触ることで、目の不自由な人々が、実際のがん治療がいかにリスクなく執り行われているかを知る。体の不自由な人が、USBポートを使って自由に大量の本を出し入れする。これは単なる空想ではなく、実在するLCIF交付金事業の一例だ。

何十年もの間、ライオンズは、人道支援の立場から科学技術を取り入れ、最新の支援活動を行ってきた。アメリカ・ワシントン州カウリッツ郡にある消防署に導入された熱探知システムもその一例で、19・G地区がLCIFからの交付金2万ドルを受けて提供した。連邦消防局よると、アメリカは、火災による死亡率が100万件中12・4人と先進国の中で極めて高い。また、毎年100人以上の消防隊員が、救助活動の最中に犠牲になっている。

熱探知カメラは、建物の中の温度差を感知し、その様子を小さなモニターに映し出す。このカメラを使用することで、消防隊員は煙が充満したビルに直接踏み入る前に生存者の位置確認が可能で、適切な救助方法を計画することが出来る。

このプロジェクトは、アメリカ・ワシントン州にあるロングビュー・ケルソー・アーリーバード・ライオンズクラブのライオンデュアン・ベイリーが、テレビで熱探知カメラに関する特別番組を見たことから始まる。その後、彼が中心となって、地元の消防隊に熱探知カメラを寄贈する計画が進められた。カウリッツ郡の消防署が熱探知カメラを使い始めて4年、この間、火災による消防隊員の死亡事故は一度も起こっていない。

熱探知カメラを実演するカウリッツ郡消防署の消防隊員

科学技術を利用した別の例として、日本の330・A地区は、目の不自由な人たちに、物に触れ、身の回りの世界を知る機会を提供している。視覚障害者にとって普段は危険であったり、大きすぎるような対象物を、真空成形機を使って小さな手で触るのに適したものに作り変えることが出来る。軽くて丈夫なデザインにすることにより、視覚障害のある子どもから大人まで、これまで不可能だった対象物を認識することが出来る。

真空成形機で作られた立体地図を使って、視覚障害者は空間を認識する。また、その技術により、普段危険なものでも、子どもが安心して触ることが出来る。成型機の活用により、330・A地区では約2700人の視覚障害者が、未知の世界を知ることになる。この事業には今までにLCIFから10万ドルの交付金が拠出され、4台の成形機が購入された。

ライオンズクラブのプロジェクトは、最先端の遺伝子研究から身近な浄水装置まで広範囲にわたり、地域の人々の問題解決に取り組んでいる。科学の進歩に伴い前進し続ければ、想像も出来なかったプロジェクトもやがて現実となる。LCIF交付金はそんなプロジェクトを支えている。

SightFirst Update

ラテン・アメリカにおける新ビジョン

クリステン・エッカート

土木技師であるハイロ・コントレーラスはこれまでに、初めて目が見えるようになった人たちの顔に浮かんだ喜びの表情を数多く見てきた。それは、コロンビアにおける三つの視力ファースト事業の交付金運営管理者という彼の立場のおかげであった。「ある日、一人の女性が私の会社を訪ねて来ました。彼女は白内障によって失明し、私を訪ねる数日前、病院から手術が決まったことを知らされていました。彼女は、手術が終わったら、手を差し伸べてくれた恩人に会ってもいいか、と私に聞きました」と彼は話す。そして続けて、こう語った。「彼女は喜びの涙を流しながら、私の前でひざまずき、神が起こしてくれた奇跡に感謝をしたのです。私はとても感動しました。あの光景は忘れることはないでしょう」

こうした経験は土木技師の典型的な日常生活の一部ではない。視力ファースト・プログラムにかかわったおかげで経験出来たのである。視力ファースト事業が始まる前、コロンビアの患者は白内障手術を受けるまで最大4年も待たなければならなかった。

視力ファーストは、2700万人の視力低下を予防してきた。が、失明の脅威は時間と共に変化していった。新しい合併症や眼病の出現により、視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）が必要となったのである。CSFⅡは「視力をすべての人に」という目標を達成し、2020年までに世界の失明者が3700万人から7400万人に倍増することをくい止めようとしている。現在進行中のキャンペーンの挑戦的目標額は2億ドルであるが、少なくとも1億5千万ドルを調達することが求められている。

視力ファースト事業により、視力を取り戻して喜ぶアルゼンチンの子どもたち

ラテン・アメリカではこれまでに342件、合計約2400万ドルの視力ファースト交付金が承認された。

その一つ、アルゼンチン北東部で継続中のプロジェクトで委員長を務めるDr.フランシスコ・シュライバー（視力ファースト技術顧問）は次のように話す。

「地域における視力ファーストによる影響は、非常に建設的です。ライオンズのボランティア活動を更に突き動かすだけではなく、他の機関にこの尊い活動への参加を促しています」

実際、ライオンズの白内障手術キャンペーンが成功してから、ある州政府は公共の白内障プログラムを取り入れたのである。この関係は、LCIFやライオンズが更に資金調達に力を入れ、支援していく上で役立っていく。これまでアルゼンチンで行われたプロジェクトはすべて、白内障手術キャンペーンだったが、ライオンズは現在、長期的かつ継続的なプロジェクトを展開している。Dr.シュライバーは語る。

「例え白内障手術キャンペーンのように直接影響が見えるものではないとしても、医者として私は予防教育が最良の活動だと確信しています。いずれにせよ、私たちの努力は最終的に視力問題を減少させることによって評価されることになるでしょう」

ライオンズは視力ファーストを通じて、将来、誰もが必要な時に目の検診を受けられるような社会を実現させることを約束する。予防可能な失明を患う人の視力への権利は誰にも奪うことは出来ない。

ベトナムの障害者職業訓練施設とカンボジアの小学校訪問

第5回LCIFスタディ・ツアーが、2008年1月16～21日（4泊6日）の日程で行われる。これはLCIFが主催し、海外で実施されているLCIF交付事業を視察するもので、これまでにインド、カンボジア、タイ、フィリピンで実施。今回はベトナムとカンボジアを訪問し、ベトナムで障害者の職業訓練施設を、カンボジアでは小学校数校を視察する。

ベトナム・プロジェクト

ベトナムで視察するのはホーチミン市にある障害者の職業訓練所。2004・05年度に、335・A地区（兵庫県・東）の神戸一の谷、神戸レインボー、明石魚住の3クラブが、LCIF一般援助交付金3万ドルを得て合同で実施したもの。

ベトナムはここ数年、毎年2ケタの経済成長を遂げている。が、道路を始めとするインフラの整備が、こうした急激な経済的発展に追いつかず、行政の目も、自然とハード面に向けられるようになっている。そのため、福祉などソフト面の立ち後れが目立ち、経済成長の陰で、弱者が泣きを見る状況となっていた。

ホーチミン市には障害者・孤児支援協会（HASHO）というNGOがあり、障害者の養護施設を運営、刺繍などの職業訓練を行っている。が、335・A地区3クラブによるベトナム・プロジェクトが実施される前は、満足な設備がなく、十分な指導や教育が受けられる状態ではなかった。例えば、刺繍の訓練用には、旧式のミシン1台があるだけだった。

こうした現状を変えるため、HASHOでは、ホーチミン市郊外に、障害者のための本格的な各種職業訓練所を作る計画を進めていた。3クラブはこの計画を知り、その第1号施設として、刺繍の作業所を建設することにした。また、併せてミシンやアイロンなどの備品も整えた。

共産圏ということで、事業の完了までには紆余曲折があったようだが、HASHOという信頼出来る協力団体を得たことで、最終的には非常にいい施設が出来上がった。竣工式には3クラブの代表30人が参加した。

その式典の終わりで、障害を持つ女性が、「皆様の関心と愛情のおかげで、私たちは普通の人と同じように生活することが出来るようになりました。皆様への恩返しのために、私たちは精いっぱいがんばります」とスピーチ。この前向きな言葉に、3クラブのライオンたちは感動し、同時にライオンズの可能性に対して誇りを持ったという。

カンボジアの教育支援

カンボジアでは、茨城県・下館ライオンズクラブが、シェムリアップ州で建設してきた小学校を見学する。同クラブは2002年から5年計画で、毎年1校、学校を建ててきた。

カンボジアではクーデターと内戦が続き、

ポルポト政権下では百数十万人の大量虐殺が行われた。その間、教育の廃止、文化や宗教の否定という政策の下、子どもは親から引き離されて集団生活と労働を強いられた。インテリ層は、それだけで虐殺の対象となり、多くの教師が殺された。

内戦が終わり、カンボジア王国が成立したのは1993年のこと。国の復興には、まず内戦で失われた教育基盤の確立が最重要課題となった。

各国の政府やNGOが、その実現のために協力をしており、日本のライオンズクラブでも、いくつかのアクティビティが実施されている。LCIF交付金を受けてカンボジアで実施された事業も多いが、その半数以上が学校建設や改築、備品購入など、教育支援に使われている。

その代表格が、下館ライオンズクラブの5カ年事業であり、スタディ・ツアー参加者はそれらの成果を見ると共に、カンボジアの純真な子どもたちと触れ合う機会を得る。

◆

日本では、自分たちは一生懸命LCIFに協力しているが、いったい何に使われているのか分からない、という声を聞くことがある。スタディ・ツアーは、こうした声に応えて、LCIFが主催しているもので、実際の交付事業を視察することで、これらの疑問に対する直接的な答えを受け取れる。毎年、参加者は大きな収穫を持って帰国しており、そのせいかリピーターも多い。また、普段は会う機会のない全国のライオンと親交を深め、情報交換が出来るのも楽しみの一つ。

今年のツアーは初めて、2カ国の視察となり、また期間も例年より少し早い1月中旬となる。それに伴い申し込み締め切りも若干、早まっているので注意されたい。詳細は協和海外旅行へ。

第5回LCIFスタディ・ツアー旅程表

1月16日(水) 成田空港10:30→ホーチミン14:30（VN-951）
中部空港11:00→ホーチミン14:30（VN-969）
関西空港11:00→ホーチミン14:20（VN-941）
17:30〜18:30　LCIFセミナー
1月17日(木) 9:00〜17:00　交付事業見学／市内観光
1月18日(金) ホーチミン11:40→シェムリアップ12:40（VN-827）
午後　アンコール遺跡(世界遺産)見学
1月19日(土) 9:00〜17:00　小学校訪問・交流／井戸贈呈
1月20日(日) 午前　アンコール遺跡(世界遺産)見学
シェムリアップ20:25→ホーチミン21:25(VN-848)
ホーチミン23:30→関西空港6:45（VN-940）
ホーチミン23:40→成田空港7:25（VN-950）
ホーチミン24:15→中部空港7:45（VN-968）
※滞在中のスケジュールは一部変更になる場合もあります。

ツアー費用　220,000円（1人／2人1室利用料金）
※任意：1人部屋利用追加料金44,000円／ビジネスクラス追加料金概算100,000円／ベトナムでの寄付2,000円
申し込み締め切り：2007年11月30日（金）

●ツアー企画
ライオンズクラブ国際財団（LCIF）
担当：田辺憲雄（資金開発課課長）

●ツアー取扱
協和海外旅行株式会社
〒113-0033東京都文京区本郷4-5-10　サンファミリー本郷202
TEL：03-3816-7971　FAX：03-3816-7977
E-Mail：kyowa@kyowa-kaigai.jp
担当：野口正二郎（東京関東ライオンズクラブ）

SCENE

「やっとさー」がこだまする阿呆の波は池田から

徳島県・阿波池田ライオンズクラブ

■文／久保晋作　写真／田中勝明

夏の祭りは数あれど、徳島と言えば阿波踊り。近年では関東地方を中心に全国で阿波踊りの波が広がりを見せている。地元県内では徳島市以外に、昔からあちこちで阿波踊りが開催されている。三好市池田町で行われている阿波踊りもその一つだ。

「いけだ阿波踊り」は毎年、8月14日～16日に行われ、開催期間の人出が10万人を超える地域最大の夏祭り。四国のへそと言われるここ池田に、市内外から「踊る阿呆に見る阿呆」が訪れる。そんな両者を引き立てる名脇役が桟敷席だ。桟敷席前の目抜き通りは踊り子にとって演舞場であり、踊りに力が入る花道。一方、観覧客には腰を据えてゆっくりと見物出来る座席となる。その桟敷席の設置を始め、祭りを支えているのが阿波池田ライオンズクラブ（谷正二会長／39人）のメンバーたちである。

阿波池田ライオンズクラブの桟敷席設置の歴史は古く、クラブ結成5周年の40年前にさかのぼる。当時のメンバーが徳島市の阿波踊りを見て、取り入れたのが始まりだ。土建業を営んでいるメンバーに話を持ち掛け機材を調達、設営までを行うという手作りのアクティビティであった。その後、設営や機材の保管は市の協力を得るなど、役割分担をしている。

また桟敷席はクラブにとって、ある種の座りの良さがある。まとまった事業資金の財源とな

るのだ。観覧客から大人500円、子ども300円の座席料を頂く他、町内の企業からは保管料を含め年間6千円で広告看板を募っている。これらの収入は桟敷席の設置費用や踊り連へのお礼など運営費に充てられる。その他諸経費を差し引いた分がクラブの収益金となり、年3回の献血や中・高校生も参加する国道の舗道清掃などに使われる。

　午後7時のテープカットと共に踊りが開始。鉦（かね）や締め太鼓の鳴り物が響き渡り、「や

桟敷席は固定式と移動式の2種類。開始1時間前に目抜き通りの交通規制が敷かれ、メンバーは短時間のうちに移動式の桟敷席を通りの向かい側へ移動させる。設置が終わるとすぐに座席券の販売、祭りが始まると観覧客の整理、ゴミ収集から踊り連へのお茶出しとメンバーたちは期間中の3日間黒子に徹する

っとさー」の掛け声が飛び交う。開始から30分、約800ある桟敷席は既に満席で、立ち見客も出る程の盛況ぶり。

アクティビティの開始当初から、そんなにぎわいを目にしてきた古参会員が、今年も顔を見せた。御年90歳を迎えるチャーター・メンバーの一人真鍋ライオンは言う。「地域の人と一体になることが大切。参加することに意義がある」

その思いが届いたのか、3日間の人出は昨年より5千人多い11万人にも及んだ。

奔流50年　回想の日本ライオンズ

● 第10回

初の日本人国際会長誕生

ライオン村上薫が東洋初の国際会長に就任

「私は心の平和を求めている。自らが完全に平和を求めている。自らが完全に平和を求める人間になりきること、アット・ピースになりきる。君もまたアット・ピース、彼もまたアット・ピース、我らもまたアット・ピース、そしてピープル・アット・ピースという私のスローガンが誕生したのであります」

「ピープル・アット・ピース」をテーマに掲げた第65代国際会長ライオン村上薫は、京都府の出身。初のアジア出身の国際会長であった。村上会長がライオンズクラブの存在を知ったのは、京都市教育課長として渡米した1950年のことであった。帰国後、京都市広報課長などを経て、茶道裏千家淡交会の事務局長に招かれた。京都ライオンズクラブ会員になって、クラブ幹事に選出されたのは55年7月のことで、今の『会長必携』の翻訳を完成させ、全国に配布したのは、その頃のことであった。

60年には、シカゴの国際協会を訪ね、居合わせたメルビン・ジョーンズに出会っている。ライオンズクラブの隆盛を祝ったライオン村上にジョーンズが答える。その答えが長くライオン村上の心に残った。

「数だけが問題ではない。世界最大の数が、みんな人類の善意を代表する人たちであるということに大きな意義がある」

75年、ライオン村上は国際理事に選出され、乞われるままに世界各国に飛び、訪ねた行程は地球2周半に及んだ。精力的な行動は、81年に国際会長になってからも変わらなかった。精力的な日々を重ねる彼に、ある人が尋ねた。

「あなたはどこで休まれるのです?」

「私はいつも靴の上にいます」

メルビン・ジョーンズの心そのままに生きているかのような日々であった。国際会長に就任してからの1年間、ライオン村上が京都の自宅で過ごしたのはたった14日間、他の日々はすべてライオニズムに捧げた無私の毎日であった。1年間の旅程は延べ123万キロ、地球を32周半も回った計算になる。

82年、ライオン村上は国際会長として日本各地の地区年次大会を訪ねた。誰もが、国際会長は痩せたのではないか、と思った。それ程にも疲れているように見えたのだ。その頃、村上会長はこんな手紙を親しい会員に出している。

「何度も医師に診てもらおうかと思うことがありましたが、ドクター・ストップのかかるのが心配でした。だからとにかく、職の終わるまで突っ走って参りました」

実は、ライオン村上は国際第3副会長立候補の頃に、主治医から肝機能障害のあることを告げられていたのだが、ライオニズムに一命を懸けたかのような行動は、誰にも止めることが出来なかった。ライオニズムに全身全霊を捧げたライオン村上薫は、82年11月7日、任務を終えた使徒のように、卒然として逝った。秋雨の煙る日であった。　（原武夫）

1981年、アリゾナ州フェニックスで開かれた第64回国際大会でライオン村上薫が国際会長に

こころのチキンスープ●ライオンズ編

クラちゃん、それはあかんよ!

構成/青山研

「天国は母親の足もとに在る」

――イスラム苦行僧のことわざ――

「クラちゃんそれはあかんよ! アンタ間違ってるわ!」

そう諭すように言ったのは、元会長のライオン城山でした。

奈良県・生駒ライオンズクラブの例会後のことです。いつものように、二次会に流れ込み、いつものように、ライオンズについて語り合いました。いろんな話に花が咲くのが、この二次会の常。この辺りは、どちらのクラブでも変わりはないようです。

話の発端は、年度初めの例会のことです。会長交代式となるこの例会、生駒ライオンズクラブでは新会長の紹介も兼ねた家族例会として、奥さんと一緒に出席するのが恒例です。ところが、クラチャンことライオン倉持寛、もうすぐ40歳になるのに、連れて行く肝心の奥さんがいません。当然、一人で出席と決めていましたが、ライオン城山の一言で流れが大きく変わってしまいました。

「クラちゃん、一回お母さん連れて来たったらどうや?」

負けん気の強いライオン倉持、大先輩を相手に反論に出ました。

「奥さんならともかく、母親を連れて行くのはおかしいじゃないですか。そんなこと出来ませんよ!」

「それは違うで。そういう考えはおかしいよ。家族例会と言うのは奥さんだけのためにあるんやないで。お母さんを連れてきてあげて、ライオンズがどんなものなのか、一回しっかり見てもらったらどうや?」

ライオン城山も後へは引きません。そして、とどめの一言。

「クラちゃん、それも一つの親孝行ちゃうか? 親を大事に出来んもんが、何で世間に奉仕が出来るんや。アンタそれは間違ってるわ!」

二人のやりとりを見守っていた先輩ライオンたちも、口々に諭します。

イラスト／吉田悦子

「そうやそうや！　絶対来てもらいや」
「おれらも協力するから、心配せんでええから！」
「もっともお母さん、この顔ぶれを見て不安になるかもしれんけどな」

　翌日、考えた末に、ライオン倉持はお母さんに電話を入れました。予定が入っていること、「行かない」と言ってくれることをちょっと期待しながら。
「えーっ！　そんなん私がライオンズになんか行ってもいいの？　あんた嫌やろ？」
「うん、嫌やと思ってたら先輩に怒られた。予定があるなら空けてでも一回来てみたらどうや？」
　前夜の先輩たちの言葉を思い出し、いつの間にか一度連れて行こうという気持ちになっていました。
「ほんまにええの？　ありがとう。ホンマにありがとう……。あんたの顔つぶさんようにするから。皆さんのご迷惑にならないようにするから。邪魔にならないように気をつけるから。ホンマにありがとう……」
　お母さんは電話の向こうで、泣きながらそう言いました。
　迎えた例会の当日、幹事のライオン藤本の配慮で、お母さんは同世代の女性スタッフの隣席に案内されました。先輩ライオンたちの細やかな気遣いによって、お母さんは終始、楽しそうでした。
「僕はこれからみんなと二次会に行くから、先に帰りや」
　例会が終わり、ライオン倉持がお母さんにそう言うのを聞いた会長のライオン吉川が、割って入りました。
「クラちゃん、まあそう言うなよ。お母さんもご一緒に二次会へ行きましょう」
　結局、お母さんはその日最後まで、みんなと一緒に過ごしたのでした。
　深夜、家に帰り着くなり、お母さんは今は亡き夫の仏壇に手を合わせました。長い間、じっと手を合わせた後で、こうつぶやきました。
「あんたはホンマに幸せやな。あんなすばらしい人たちの仲間に入れて頂いて、あんなに可愛がってもらって……。いつかお父さんのところへ行ったら、ちゃんと報告しとくからね。今日はホンマにありがとう」
　ライオン倉持、先輩ライオンたちのおかげで、ほんの少しの親孝行が出来たのかな、そう思った1日でした。
　きっと天国のお父さんも、この日の出来事を目を細めながら見守っていたことでしょう。

CLUB REPORT クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は62ページ、または『ライオン』誌ウェブ・マガジンをご覧ください。

岡山京山ライオンズクラブ

地雷障害者の自立を支援

岡山京山ライオンズクラブ（奥村功二郎会長／58人）は5月10日、カンボジアの地雷被害者を支援するため、NGOカンボジアの村を支援する会（CVSG）に自立支援村作りの資金50万円を贈った。

更に5月26～29日、会員ら6人が同国シェムリアップ州へ赴き、地雷で負傷した人たちの家を訪問した。アンコールクラウ村では「CVSG地雷被害者支援センター」を視察し、子どもたちにお菓子をプレゼント。またバンテアイ・スレイ遺跡近くの自立村を見て回った。

内戦が30年近く続いたカンボジアでは今でも1年間に2万人以上が地雷によって命を失ったり、けがをしたりしている。一度障害を負うと社会復帰は難しく、大半がホームレスになると言われている。

「カンボジアの村を支援する会」は2001年、約6ヘクタールの敷地に自立支援センター「第1村」を建設。現在約220人が半集団生活を送っている。50キロ程東には州政府から15ヘクタールの土地供与を受け、「第2村」の建設が進められている。

（前地区誌編集委員長／向山文博）

連絡先→086・232・7122

（編）現地では厳しい現実を目の当たりにすることもあったと思いますが、視察は貴重な経験となったことでしょう。

千葉東ライオンズクラブ

加曽利貝塚を世界遺産に

千葉東ライオンズクラブ（佐渡忠継会長／27人）は今年2月にチャーター・ナイトを行った新しいクラブ。当クラブが地盤とする千葉市若葉区には、加曽利貝塚を中心に六つの史跡指定となる大型貝塚がある。市民の憩いの場であると共に、今から3千年～1万年前の縄文時代の文化や自然を知る宝庫として、世界一の歴史的価値があると言われている。クラブではこれに着目し、加曽利貝塚を中心とした貝塚群の世界遺産登録を目指し、日々活動している。

結成以来、定期的に貝塚博物館幹部を講師とした勉強会を開催。また2月の火おこしや縄文スープ体験、7、8月には日曜日ごとに行われる古代住居跡復元作業など、遺跡への理解を深める行事に積極的に参加してきた。更に関係当局への働き掛けや、今後は市民を対象とした講演会なども企画し、県内初の世界遺産登録へ向けて活動を続けていくこととしている。

（元地区ガバナー／岡野正義）

連絡先→043・232・4744

（編）貝塚は縄文人が捨てた貝殻の跡ですが、加曽利貝塚の規模は日本最大級。竪穴式住居や人骨、石器、土器が発見されているそうです。

福岡鴻臚館ライオンズクラブ

幼児相撲大会

福岡鴻臚館ライオンズクラブ（久保田祐介会長／26人）は6月23日、「第17回福岡地区幼児相撲大会」を主催した。太宰府市の大宰府天満宮で行い、福岡市内と近郊から24チームが参加した。

試合は5人編成で1チームとする団体戦で、予選リーグを全参加者で行い、上位8チームが更に決勝トーナメントで戦った。まわし姿の子どもたちはみんな元気いっぱいで、技や力を土俵の上で存分に発揮した。

かわいらしい力士たちの熱戦に観客は大きな声援を送っていた。

「相撲を通じて土俵上の礼儀作法を知り、勝ち負けにこだわらず、豊かな思いやりの心を持った子どもたちが育っていくことを願い、今後も続けていきたい」と坂本直美前会長は話している。

（指導力育成委員長／井上舒之）

連絡先→092・771・5781

（編）大会はきっと笑いあり、涙ありで、参加した子どもたちも応援の家族もみんなが楽しい一日となったことでしょう。

広島ニューシティ・ライオンズクラブ

YE生と平和学習を実施

イラスト／篠田和夫

広島ニューシティ・ライオンズクラブ（立川忠義会長／48人）はこの夏、ドイツからのYE生ビンツアー・ベンヤミン君の受け入れを実施。ビンツアー君は、ライオン田川幸雄宅にホームステイ。滞在中の7月24日には、広島県内を訪れている6人のYE生と合流し、広島平和公園で平和学習を行った。

広島中央ライオンズクラブのライオン村上道機宅でもフランスからのYE生、レベッカ・エクスカラントさんがホームステイ中であり、近隣であることから今回、行動を共にした。

2人は宮島見物を終えた6人と一緒に、中国新聞広島制作センター「ちゅーピーパーク」で昼食後、三谷義隆地区YE委員らの引率で、平和公園に向かった。

原爆資料館では各国の通訳器を手に熱心に見て回り、旧日本銀行広島支店の平和絵画展を観賞、お好み村で広島名物のお好み焼きを食べた。一日で皆とすっかり仲良くなっただけに、名残を惜しみながら解散した。

レベッカさんは、昨年も1歳上の兄が、夏季YE生として広島安佐、呉グリーンの両クラブでホームステイしており、「広島にぜひ来たかった。悲惨な原子爆弾には反対だ」と話した。ビンツアー君も「大変勉強になった」と感想を述べていた。今後も継続的にYE生を迎え入れたい。

（前PR理事／天崎俊章）

連絡先→082・872・6100

（編）日本の中でも特に広島は戦争と平和について多くを学べる土地なので、とても勉強になったのではないでしょうか。

大阪府・四條畷ライオンズクラブ

里山再生事業

　四條畷ライオンズクラブ（三嶋豊会長／24人）は6月7日、四條畷市立田原中学校と合同で、里山再生事業をスタートさせた。竹や笹に覆われ、森としての機能を十分に果たせずにいる荒れ山を伐採し、山にふさわしい木を植栽することにより森を復活させようというもの。

　同中では環境に関する授業を1学年で16時間、2学年で18時間、3学年は8時間確保しており、特に子どもたちが自然と直接触れ合い、自然の大切さを体得する教育に力を入れている。

　当クラブは結成45周年記念事業として地球温暖化防止に関する事業を、地域住民と共に行いたいと模索していた。そこで四條畷市教育委員会の紹介を得、田原中に里山再生事業を申し入れたところ、趣旨に賛同頂き、その成果が子どもたちの成長と共に自然の中に形として残ることで大きな喜びになるだろうと、実践の運びとなった。

　大阪府及び四條畷市、同中PTA、地域里山の会の協力を得、プロジェクトを組み、場所設定、伐採計画、植栽計画、安全対策等の準備を整えた。

　当日は早朝から、担当の先生による的確な指導の下、2年生約90人による伐採が開始された。てきぱきと行動する子どもたちの顔は光り輝いていた。お昼過ぎには予定していた区域の伐採が無事終了、奇麗な山肌が姿を現した。次回は11月、この伐採された山に、1年生による植栽が予定されており、着々と里山再生は進んでいる。

（前会長／西規夫）

連絡先→072・878・3366

（編）結成50周年に向け、5カ年計画で約2ヘクタールの里山を再生していく予定だそうです。

鹿児島県・志布志ライオンズクラブ

小学生バレーボール大会

　志布志ライオンズクラブ（32人）は7月29日、志布志運動公園内体育館で「志布志ライオンズクラブ杯小学生バレーボール大会」を開催した。この大会は毎年、スポーツを通じた青少年健全育成の一環として行っている。

　大会には志布志市内と大崎町から11チームが参加、熱戦を繰り広げた。体育館の中は大変な暑さとなり、子どもたちは水分を十分に取りながら日頃の練習の成果とチームワークを存分に発揮した。

　私はメンバーを代表して、「立派に成長し、スポーツを通じて躍動する選手たちに大いなる声援を送ってください」と、来場された多くの保護者にお願いをし、会場はより一層の盛り上がりを見せた。

（会長／山下忠久）

連絡先→0994・72・0628

（編）大会会場では献血活動も実施。夏場に不足しがちな輸血用血液の現状を訴え、協力を呼び掛けました。50人が受け付けし、29人が献血されたそうです。

兵庫県・加西ライオンズクラブ
鎌倉山頂上に望遠鏡を設置

加西ライオンズクラブ（橋爪義明会長／35人）は6月6日、市内最高峰の鎌倉山頂上に望遠鏡を設置した。

当初は、運搬車も入らない山道を、望遠鏡やその他機材を背負い、急な坂道を登れるか不安だったが、地元の森林ボランティアや「トライやるウィーク」の中学生らの協力もあり、無事に運搬することが出来た。

当日は早朝から鎌倉山登山口に集合し、各自、望遠鏡本体やセメント、付属品などを担ぎ、手分けをして運んだ。野鳥の鳴き声を聞き、森林の木漏れ日を浴びながらの登山となった。途中で背中の荷物が肩に食い込み、腰も痛み出し、西から頂上へ続く急な坂道では周りのメンバーを気遣う余裕すらなくなっていたが、仲間に励まされ、なんとか頂上に到着。設置も終わり、播磨平野の雄大な景色を見た時、それまでの苦労が皆で成し遂げた大きな達成感へと変わっていた。

今回の事業を通し、当クラブのすばらしさを改めて実感し、ウィ・サーブの神髄に触れた思いがした。感動した一日となった。

（教育奉仕委員長／小川初男）

連絡先↓0790・43・0864

（編）市民や観光客が登山で望遠鏡を利用し、奇麗な風景を見ることが出来れば、また一つ思い出が増えることでしょう。

大分県・豊後高田ライオンズクラブ
盆踊り大会でタオル贈呈

豊後高田市は「昭和の町」として全国に広く知られている。昭和30年代の古い建物を生かし、当時の町並みをより忠実に再現した商店街は、昔懐かしい昭和の香りがする。

また、六郷満山と呼ばれる仏教文化が栄え、石仏石塔の宝庫の地でもあり、奈良、京都に次ぐ、千年の仏国、「仏の里」としても有名である。これらを目的に年間30万人以上の観光客が訪れる。

8月18日には恒例の「高田観光盆踊り大会」が開催され、今年も1500人を超す踊り子たちが、思い思いの仮装で「昭和の町」を練り歩いた。

豊後高田ライオンズクラブ（小門義資会長／63人）も例年通り1500枚のタオルを盆踊り大会に贈呈すると共に、41人のメンバーが参加した。フィナーレは江戸時代から受け継がれる草地踊りを今に伝える保存会の特別出演。徐々に早くなるリズムの中、艶やかな女踊りから衣装の早変わりで、一転して法被姿の男踊りになる様は、まさに心技一体の妙技であった。メンバーらも踊りを堪能し、なおかつクラブのPR活動も出来、楽しい1日となった。（平原潔）

連絡先↓0978・22・1329

（編）高田観光盆踊り大会は、8代将軍徳川吉宗の時代に農民の娯楽として始められて以来、300年近い歴史を誇る伝統の盆踊りだそうです。

茨城県・阿見ライオンズクラブ

まい・あみ・まつり2007に協賛

8月4、5日と2日間にわたり、今年もさわやかセンター前通りで「まい・あみ・まつり2007」が開催された。

古里創生事業の一環として、町民に希望と活力、そして潤いのある町（古里）づくりと、古里を愛する心を育てることを目的に実施されている。

今年は「つながる道・心躍る今年の夏」をテーマとして実施。当日は多くの町民が参加し、いろいろな催しを楽しんで頂くと共に、祭りを通しての多くの出会いと触れ合いが生まれた。

これが、仲間意識の形成や、「希望と活力、そして潤いのある古里づくり」につながるだろう。

「まい・あみ・まつり2007」は年々パワーアップし、近年では全町民挙げてのビッグイベントとなっている。毎年さまざまなイベントが企画、運営されており、阿見ライオンズクラブ（長谷川義洋会長／35人）も毎年この祭りに協賛、参加。今年も献眼・献腎登録運動と共に、ライオンズクラブのPRパネルの展示を行った。32度を超える暑さの中、「目の不自由な人のために愛の光を」と臓器提供意思表示カードや薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」のパンフレットを配布し、クラブの活動を町民にアピールすることが出来た。

（PR情報委員／関山憲）

連絡先→029・891・3010

（編）会場では多くの市民が献眼・献腎登録に賛同され、17人の方が献眼登録に応じられたそうです。

山口県・宇部ときわライオンズクラブ

「ダメ。ゼッタイ。」キャンペーン

宇部ときわライオンズクラブ（児玉吉弘会長／48人）は6月23日、「国際麻薬乱用撲滅デー」にちなみ、薬物乱用防止を呼び掛ける「ダメ。ゼッタイ。」の普及活動に参加した。

このイベントはフジグラン宇部で行われ、当クラブの他、地域の青少年育成指導者や宇部健康福祉センター、宇部警察署などで作る宇部地区薬物乱用防止推進協議会と、宇部商業高校の生徒が参加。買い物客の多い午後2時から2時間、高校生ら50人と共に、正面玄関や2階エレベーター前など4カ所でお揃いの黄色の帽子をかぶり、キャンペーンを繰り広げた。

啓発用のパンフレットと救急ばんそうこう、ティッシュペーパーなどを買い物客に配りながら、覚せい剤やシンナーの乱用防止を訴えた。

（前会長／瀬川泰弘）

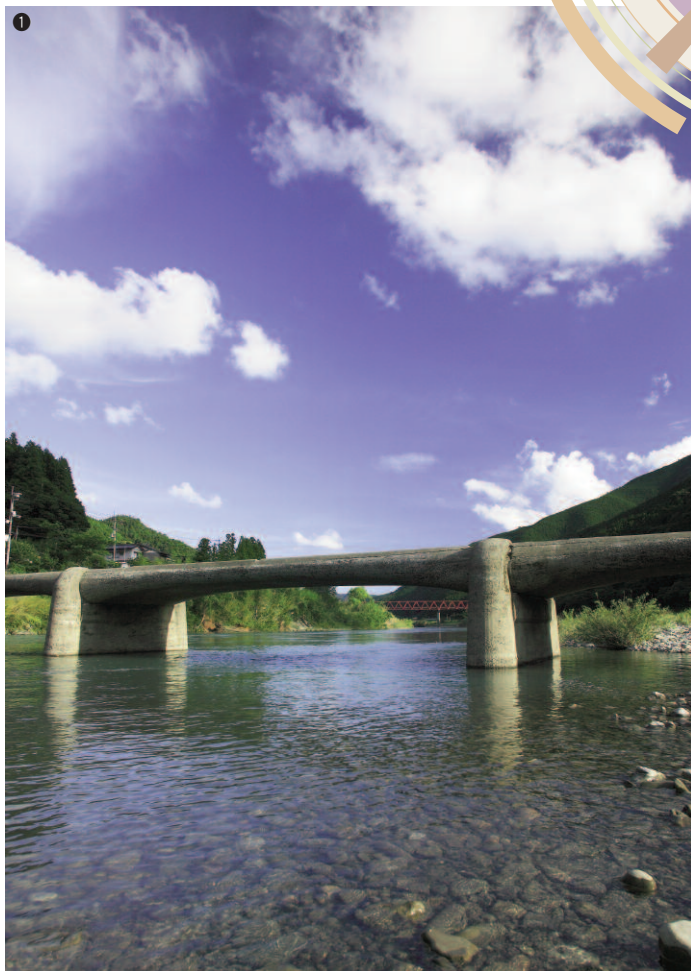
連絡先→0836・35・6877

（編）当日は募金活動も行われました。集まったお金は国連を通じて発展途上国での薬物乱用防止活動に充てられ、また国内での活動にも役立てられるそうです。

ふるさと探訪

高知県・四万十市

滔々たる真夏の四万十、自然の恵みと人の手が生み出す奇跡

■文／砂山幹博　写真／田中勝明

沈下橋のウォーターボーイズ

夏の四万十川と言えば、入道雲の青空の下、橋の上から川に飛び込む子どもたち……そんなイメージを勝手に思い浮かべて四万十入りしたのだが、まさにその通りの光景が飛び込んできた。高さ5メートル程の橋の上から川面を覗き込んだ後、思い思いのポーズで飛び込んでいく人の姿である。

近くに寄って話を聞くと、高知市から遊びに来たという大学生だった。やはり彼らにとっても四万十の夏はこのダイブだと言う。流域に暮らす者ならば、子どもの頃に一度は経験する水遊びで、飛び込むことで泳ぎの技術と勇気を身に付けていく。飛べないと意気地なしと言われ、飛べば一目置かれる。子どもながらにその後の評価が大きく変わる、進退を懸けた行事なのである。

飛び込み台となる欄干のない橋は「沈下橋」と言い、氾濫時には水面下に沈むように設計されている。流木などが引っ掛かりその抵抗で橋が倒壊するのを防ぐため余計な装飾はない。欄干がないのもそのためだ。

幅5㍍程の歩行者専用のものもあれば、車同士が橋の上ですれ違えるように幅員が広くなった場所を設けている橋もある。四万十川には、県の保存対象となっている沈下橋が本流に21、支流に26現存し、そのほとんどが現役で使われている。

全長196キロ、300を超える支流を集め、豊かな水をたたえる四万十川は、他の多くの河川がダムの建設やコンクリート護岸などの工事により自然の景観を失ってきた中、川本来の姿をとどめている数少ない大河だ。「日本最後の清流」などと称されるのはそのためである。

昭和20年の終わりから30年に掛けて沈下橋が流域各所に掛けられる以前、この川唯一の交通手段として舟母（せんば）という帆船が行き交っていたが、この舟母を模した観光船で川面から四万十川を眺める機会を得た。確かに人工の建造物は周囲に見当たらない。たまに目に付くのは川岸の木立の枝に引っ掛かっている多少のゴミだけだ。増水時にそこまで水位が上がったことを物語っている。3年前にあった大きな台風の時は、四万十各地で浸水するはずのない場所に建つ多くの家屋が水浸しになった。「自然のまま」が良いと人は言うが、時に自然は過酷な現実を突きつける。

真夏の太陽の下、水と緑の豊かな風景に溶け込む沈下橋の姿は、過酷さとは程遠いのどかな日本の原風景を思わせる。

【扉写真】子どもが橋から飛び込む光景は、四万十ならではの夏の風物詩

❶橋脚の曲線が美しい口屋内の沈下橋。隣に大鉄橋が出来たため取り壊される予定だったが、訪れた人たちの「珍しい」の一声で今なお現役

❷お隣の徳島では「潜水橋」と名を変えるが、沈下橋は四万十流域に限らず四国各地で見られる

❸かつては舟母が四万十川を行き交った。現在は観光用として人気がある

最盛期を迎える四万十の川漁

四万十川流域に暮らす人々は少なからず川の恩恵を受けているが、漁業に従事している人はその最たるものだろう。四万十川には200種近くの魚類が生息しており、四季折々の川漁が行われる。初夏から秋に掛けて本番を迎えるのが、ウナギにアユ、川エビ（テナガエビ）漁だ。

実は取材で四万十を訪れた時期、伝統漁法の「アユの火振り漁」を見られると期待していたのだが、残念ながら数日前の台風の影響で見ることが出来なかった。火振り漁とは、あらかじめ川を横断するように網を仕掛け、夜に舟上から篝火を振ってアユを驚かせ網に追い込む漁である。四万十の真夏を代表する風物詩とも言える漁だ。獲れる時は毎日行われるが、火の明かりでアユを驚かせるには水が澄んでいなければならない。台風後の薄濁りの川では漁を行うのが難しいのである。

他にもいくつか珍しい漁があるというので見せてもらった。「柴漬け漁」は、束ねた柴を水中に沈めて、そこを隠れ家だと勘違いした川エビやウナギを捕獲する漁。柴の種類も狙う魚で変わる。笹を束ねた柴は川エビ狙い、ウナギには横に枝が張った椎や山桃の枝が適している。

四万十川は、河口から約9㌔上流までが淡水と海水が存在する汽水域だ。満潮時に海水が河口をさかのぼり、干潮時には淡水がより下流まで流れ込む。面白いことにこの淡水と海水は混ざり合わず、流れの下層が海水、上層が淡水という二重構造となっている。つまり、沈下橋が掛かる美しい清流ならではの景色に見えて、満潮時には河床には潮が来ているということになる。実際、沈下橋のすぐ下でヒラメが釣れたなんていう話も聞く。

汽水域の干満の差を利用した「石ぐろ漁」も四万十ならではのユニークな漁だ。河床に直径1㍍程の穴を掘り、穴の中央部に50㌢くらいの高さになるまで石を積む。「石倉」の「くら」がなまって「石ぐろ」になったと言われている。干潮時には水面から石が頭を出す状態にして1週間近く放っておくと柴漬け漁同様ウナギが「石倉」に隠れる。積み石の周りを網で囲い、下流に向かって袋状になっている特殊な網を使って隠れているウナギを一網打尽にする。誌面では紹介しきれないが、背中で一度網を回転させ、遠心力で遠くまで飛ばす投網漁や、筒状の漁具にエサを付けて水中に沈めておく「ころばし」など、四万十という特殊な環境が生んだ独特の漁法は他に

❹背中の色が黒っぽいのは海に近い河口域に生息しているウナギ。四万十産は腹が黄色いのが特徴で「黄金ウナギ」とも形容される
❺束ねた柴を隠れ家と勘違いしたエビやウナギを捕まえる「柴漬け漁」
❻塩を振って酢で絞めたアユの身を酢飯に載せて手ぬぐいでまとめると「アユの姿寿司」の完成
❼手前左から、美しく盛りつけられた「アユの姿寿司」は、アユの香りとユズ酢のバランスが絶妙。右は、色どりが美しい「川エビの唐揚げ」。奥に見えるのは「川エビそうめん」。カツオ出汁に川エビのゆで汁を加えたつゆで頂く

もたくさんある。

ところで、四万十の魚はほぼすべて天然と言ってよい。今では稀少となった天然ウナギを実際に炭火で焼くところを見たが、火が通るとみるみるうちに身が小さくなっていった。天然ものの証しである。四万十のウナギの蒲焼きは蒸さずにカリッと焼き上げる関西風。しかし、割き方は関東と同じ背開きであった。この蒲焼きを口にすることが出来た。そして思ったこと、「やっぱり〈自然のまま〉がいい」であり、「夢なら醒めてくれるな」であった。

クラブ紹介

応仁の乱を逃れて土佐へ下向した前関白の一条教房公が、京都に擬えて造ったため「土佐の小京都」とも呼ばれる四万十市。藩政時代には、山内一豊の弟・康豊が治める中村藩として発展してきた。天下の四万十川を有する豊かな自然のみならず、歴史にも恵まれたこの地で地域社会に根ざした奉仕活動を行っているのが、四万十ライオンズクラブ（中尾亙宏会長／50人）。高知ライオンズクラブのスポンサーで1963年に結成され、今年45周年を迎える。将来国際貢献が出来る人材を育てようと10年前から開かれている中高生を対象とした「英語弁論大会」、四万十市と隣の四万十町などが主催する「四万十川ウルトラマラソン」における篝火の応援・支援が主なアクティビティ。ウルトラマラソンは日本はもとより海外からも約1800人が参加する大規模な大会で、朝は5時30分から夜は7時までという暗い時間帯に走るランナーらのために篝火を掲げる奉仕活動は好評だ。

■四万十ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（65ページ）

高知
土讃線
高知空港
須崎
土佐湾
予土線
56
439
四万十
四万十川
足摺岬

若者たちに出会いの場を

横山　征四郎（富山県・となみセントラル）

ライオンズクラブが日本で最初に結成されたのは、今から55年前の1952年。

終戦からまだ日の浅かった当時と現在とでは、社会情勢が大きく変化しています。当然、地域で求められる奉仕も変わってきています。

今、地域で求められているものは何か？　教育問題、環境問題、少子化問題などなど……。それぞれに、いろいろとあるでしょう。

教育問題では、政府は戦後教育の見直しを考え、ライオンズクラブでは、ライオンズクエスト・プログラム導入事業に力を入れています。

環境問題は最近、国際社会や地域社会においても危機感が高まり、ライオンズでもクラブ単位で問題に取り組んでいます。

そして、少子化問題。日本は世界に類を見ない速さで少子高齢化が進み、将来の危機が叫ばれています。日本の未来、国土、郷土、そして地域を支える指標は「人口」に他ならないと思います。

しかしながら、ライオンズクラブにおいて、少子化問題に取り組んでいるアクティビティは少ないのではないでしょうか。

日本は出生率が低いだけでなく、年々、晩婚化が進み、「一人の方が生活が楽」とか「エンジョイ・ライフを送ることが出来る」などと結婚しない若者が増えているのも事実です。

ある統計では、22歳～29歳女性の未婚率が59％となっています。結婚しない理由として「異性と出会う機会がない」が45％。また、30代に入ると、「必ずしも結婚しなくて良い」と思う人が52％、女性だけに限れば61％に上るそうです。

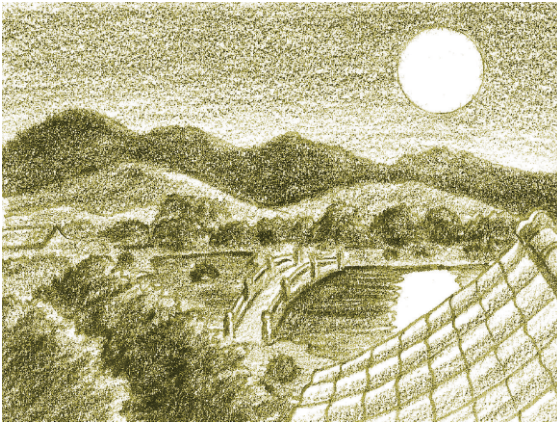
IT化が進んで、生活環境が大きく変化し、昔のように出会いを取り持つ仲人さんが減少して、男女の出会いの機会が減っているのも原因の一つかと思います。

結婚したカップルに「子どもをたくさん産んで」と声を大にして叫んでみても、結婚しない・出来ない症候群が増えている現実では、問題の解決は程遠いような気がします。

美しい日本の形成と発展のためには、「男

性と女性の双方がお互いを認め合い、助け合い、分かち合いながら生活を共にする」ことが根本だと思います。

私たちのクラブが所属している334‐D地区第2リジョン第3ゾーンでは、独身男女の出会いの場を作るアクティビティを考えてきました。そこに、第1ゾーン、第2ゾーンのゾーン・チェアパーソン、そして第2リジョンのリジョン・チェアパーソンにもご賛同を頂き、第2リジョン15クラブ合同のアクティビティとして、この事業が実現する運びとなりました。

一つのクラブよりゾーンで、ゾーンよりリジョンでと拡大していけば、出会いの機会も増えるのではないかと期待に胸を膨らませています。

9月22日（土）、男女各100人の参加者を募集して、「MEET TOGETHER〜いまこの一瞬の出会いを大切に、そして互いに語らおう〜」と題した会を開催します。

1組でも多くのカップルが誕生することを願っています。

（製造業・65歳）

イラスト／小川和政

リズム

山下 篤男（鳥取久松）

生活の中には「リズム」というものがあって、さまざまな影響を与えています。皆さんのリズムはどのようなものでしょうか。

リズムと言っても、意識して過ごしているものではないと思いますが、人間に限らず、生きとし生けるものすべて、何らかのリズムを持ち合わせています。

朝起きてから眠りの床に就くまで、一日の流れには特別なことの無い限り、一定のリズムが刻まれています。そのリズムは、知らず知らずのうちに自らが刷り込んだもの。人それぞれ固有のリズムで、日々心地よく過ごしています。

そのリズムは、時としてあらぬ変調を来すことがあります。それは、自らの事由によることもあり、また、第三者によって狂わされることもあるでしょう。もっと厄介なのは、自然によって崩されるリズムではないでしょうか。昨年から続く天候不順、温暖化などのさまざまな変調が、少なからず私たちのリズムを崩しているものとも思います。

しかしこのリズムは、意識すればいくらでも元に戻すことは出来きます。まず、本人がそのリズムの変調に気付くことが大切です。

ともすれば、「多忙」という二文字によって知らぬ間にリズムは狂ってしまい、元のリズムがどんなだったのか、思い出す余裕さえなくなってしまいます。

やがて、その変調は身体へ如実に現れ、「最近調子はいかがですか？」と聞かれた時、「体の調子が今一つ……」と、まるで決まり文句のように答えることになってしまいます。

そうなってからでは遅い。自らが気付いたリズムの変調は、身体的なダメージとしては相当なものとなっているはずです。

日々、一呼吸置いて、鏡の前で己の顔をじっと眺めてみてください。どこか変わった様

子はありませんか？

そして「さあ！　今日もがんばるぞ！」と一声掛けてみましょう。何でもないようなことですが、この一声は、リズムを整えるのに最適です。そして気を付けましょう。あなたの周りにリズムを崩す人、崩しそうな人がいないかどうかを。長い付き合いをするならば、正常値に戻してあげてください。それがあなたのためにもなります。

リズムもいろいろありますが、騒がしい行進曲やタンゴは避けて、ワルツのリズムはいかがでしょう。

「ツンタッタ　ツンタッタ」というリズムで、優雅に舞うがごとく――。

（飲食店経営・60歳）

会員増強とクラブ活性化

源　音吉（福岡みなと）

奉仕団体として世界一を誇るライオンズクラブ国際協会。しかし、世界的に会員の減少に歯止めが掛かりません。原因はいろいろあるでしょう。経済的背景や、マンネリ化、奉仕団体の多様化など、一つひとつの問題解決も大切ですが、クラブと会員の意識、これこそがいちばん大事なのではないでしょうか。日々情熱を持って活動に当たれば、会員増強は出来ると思います。

一方、退会のいちばんの理由は、人間関係が挙げられます。皆さん、入会した時の心細さや先輩会員が偉大に見えたことを思い出してください。優しい言葉で救われたり、共に奉仕活動に汗を流して感動したり、すばらしいアクティビティに喜びを見いだして、真の人間関係で結ばれた会員は、退会していないのではないでしょうか。私は、称賛と励まし、思いやりやいつくしみ、感謝の気持ちと言葉を忘れないことが、クラブの活性化につながると思うのです。

世界の三賢人の言葉を思い出します。孔子の「忠恕」、釈迦の「慈悲」、キリストの「愛情」、不思議なことにすべての字に「心」が入っています。

会員一人ひとりが、新会員に温かいいつくしみの心で接し、寛大な心で見守ることが出来れば、退会も減少するのではないでしょうか。またこうした心掛けで日々を過ごしていると、すばらしい出会いに恵まれます。人生は、出会いというご縁に感謝することだと私は思います。出会いを一期一会と受け止め縁を大切にすれば、その人脈から1年に1人や2人の新会員は招請出来るでしょう。

会員増強は、我々のあらゆる活動の原点であり、地域社会への奉仕のためにも最も重要な課題であります。私は昨年度、不老安正地区ガバナー（当時）のテーマ「成長への情熱」「奉仕の輪の拡大」の実現に向け、全力を尽くしました。活性化のためには、やはり新しい会員のパワーとエネルギーが不可欠です。

さあ、勇気を出して明日のライオンズクラブのため、今一度汗を流しましょう。先輩たちが築きあげた栄光の日々を、ライオンズクラブが輝いていた時を、もう一度取り戻すため、熱き心で勇気と自信と誇りを持って会員増強に取り組みましょう。幾星霜の月日が過ぎ去ろうとも、ライオンズ人生の日々を誇り高く語り継いでいきたいものです。

（イベント事業・64歳）

ハワリンバヤルとモンゴル表敬訪問

阿戸　健次（埼玉県・大宮見沼）

ゴールデン・ウィーク初日の4月29日と30日、恒例の「ハワリンバヤル２００７」が練馬区光ケ丘公園で盛大に開催された。

ハワリンバヤルとは、モンゴル語で「春祭り」という意味で在日モンゴル留学生会が日

本の人たちにモンゴルの文化と芸術を紹介し、両国の交流を図るために開催しているイベントだ。

今年で8回目を迎え、毎年来場者も増加し、地元警察の発表によると、今年は2日間で5万人程の来場者が訪れた。横綱朝青龍や大関白鵬（当時）を始めモンゴル出身力士が多数応援に駆け付け、会場を盛り上げていた。

この催しの後援は、外務省、駐日モンゴル国大使館、東京都練馬区、その他協力団体としてライオンズクラブ、モンゴル支援ボランティア諸団体が参加支援している。

毎年1月に入るとハワリンバヤルの実行委員会が構成され、委員長に在日モンゴル留学生会の新代表が就任し、副委員長にはモンゴル大使館書記官とライオンズクラブ代表、モンゴル支援諸団体代表の合計3人が選出される。

330複合地区では、国際協調・モンゴル友好委員会が設置されて3年が経過した。私は初代から継続して委員長に就任している関係で、ハワリンバヤル実行委員会にも副委員長として3年間留任し、留学生会を支援している。

モンゴル大使館の好意と配慮で、隔週土曜日は会議室が無料解放され、20人程の留学生と10人程のボランティア団体の代表が参加し、実行委員会が行われる。大学に在学中の留学生たちは非常に勤勉で、必ず定刻に集合。会議では留学生会の意向を重視して、モンゴル本国から芸能人を呼ぶなどのイベントを企画している。

今年はモンゴルの岩塩業者の提案から、ライオンズ専用ブースにおいて「岩塩による無料血圧測定」を実施した。岩塩の上で5分程

足踏みした後測定すると血圧が下がるというモンゴル病院での医療結果に基づき、改めて検証した。連休の初日にもかかわらず、複合地区モンゴル友好委員会のメンバーと330・C地区国際協調・モンゴル友和委員会の委員にも奉仕活動に協力を頂いた。器具が気まぐれで、結果はその時の調子次第であった。しかし、来場者（主に年配者）が多く、２日間で２００人以上を測定。いかに健康に気を使われている方が多いかということを改めて痛感した。

5月26日から30日には、モンゴル・ライオンズクラブ暫定ゾーン年次総会参加のため、ウランバートルを訪問した。年次総会は中野了モンゴル・コーディネーターの下、例年、ウランバートル郊外の大草原で挙行されていたが、今年は市内のホテルで質素に開催された。女性メンバーの参加が多く華やかだったが、会員は年々減少傾向にあり今後の動向が注目される。29日は、複合地区モンゴル友好委員会の雨宮秀三副委員長、長岡昭博委員と共に、デンベレル・クレジット銀行頭取の案内と通訳により、モンゴル国内閣府を表敬訪問した。

先般、エンフバヤル大統領が日モ外交樹立35周年を記念して来日の際、政官民合同で設立した日本モンゴル友好年実行委員会会長の海部俊樹元首相と一緒に私も実行委員会代表推進委員の一人として歓迎レセプションを開催、参加した。そうした経緯から再び大統領にお会いすることを楽しみにしていたが、当日は、総勢２５０人の政財界の代表団を引き連れて韓国訪問に出発のため再会することは出来なかった。ジクジット大使の配慮によりバトデレル内閣官房長官と会見し、約30分面談した。安倍晋三総理の絵皿と海部元総理の著書『モンゴル馬の絵本』を持参したところ、官房長官は絵本の中にあった記念写真を指差しながら「１９９１年に海部総理（当時）がモンゴルを訪問された際、馬を贈呈したのは私の父です」と発言され、「大変光栄です」と喜んで頂いた。

最近、モンゴルは豊富な地下資源の発見で、採掘権を巡って世界各国から注目されているが、反面、市場経済の導入に伴い貧富の差が拡大し、失業率や離婚率の増加と共に社会問題化している。そこで恵まれないマンホール・チルドレンに対する支援金の贈呈を申し出、官房長官から大変感謝された。

余談であるが、三井不動産販売元会長の清水隆雄氏の紹介により、ウランバートルのジャパンタウンを訪問視察した。現地担当者の話によると、当施設はスルガコーポレーションがマンションを開発中で、30万坪の大プロジェクトである。第１期分譲約３００戸は即売し、日本からの購入客が多かったそうだ。価格は４ＬＤＫ１００平方メートルで８００万円。完成後は外国の鉱山関連企業の社宅として賃貸する予定で、家賃は約12％の利回りになるという。ちなみに銀行預金の利子は、私の経験では約15％前後であり、低金利時代の日本では到底考えられぬ好条件である。

今後の日モ友好発展を期待する。

（サウナ・スパ協会会長・68歳）

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

早池峰はわがまほろばぞ雲の峰　（岩手県・花巻東）竹田　功

（評）早池峰山は岩手県遠野市北端、北上山地のほぼ中央の主峰。六角牛（ろっこうし）山・石上山とともに遠野三山といわれ、山神山人の活躍する遠野伝説の世界を形成する。古くから霊場として知られ、山頂に早池峰大権現が祀られ、山伏神楽の大償（おおつぐない）神楽・岳（だけ）神楽がある。「まほろば」はまほらと同じで、すぐれたりっぱな場所ということ。早池峰は自分の誇れるりっぱな場所で、そこに雲の峰が雄々しく立っている。

新涼の穂高を望む河童橋　（愛知県・名古屋樟）髙橋　忠男

（評）新涼は夏の暑さの中の一時的な涼しさと違って、よみがえるような新鮮な感触があるが、穂高連峰にその新鮮な涼味を感じて、河童橋から望んでいる。

■２００８年１月号から実施する本誌のリニューアルに伴い「俳壇」は本年12月号をもって終了致します。12月号の投句締切は10月15日です。
長らくご愛読、ご投句を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

【入選】▼

梅雨明けの利根滔滔と海に入る　（千葉県・大栄）野平婦基子

棚経のうなじの青き代理僧　（東京御茶の水）栗原保之助

打ち上ぐる花火明りに山河照る　（愛知県・南知多）内田二三子

背丈合ふ母の着なれし秋袷　（愛知県・高浜）岩月　三則

命綱夫のあやつるあはび海女　（三重県・松阪はなしょうぶ）大西　さよ

祭笛さらへる神田囃子かな　（静岡県・三ケ日）足立　貞男

白毫を涼しと仰ぐ千手仏　（福井県・敦賀）山本　麓潮

法堂を吹き抜けてゆく青田風　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子

笙の音の澄む寺庭の風は秋　（大阪カトレア）吉村美穂子

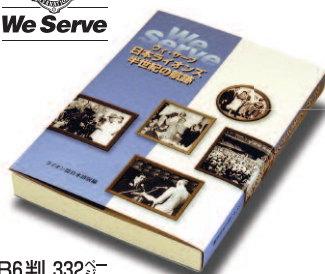
折鶴の千を数ふる原爆忌　（大阪夕陽丘）角野桂治郎

澁団扇せはしく動く土用丑　（大阪府・池田）池内　彰

山宿の灯蛾の狂へる渡り廊　（大阪府・堺浜寺）宮部志都代

万緑や朱の大塔の夕映ゆる　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　千寿

風鈴に故郷（ふるさと）の風やさしかり　（京都醍醐）國松倭都子

夏休み挨拶かはし登校す　（佐賀県・唐津レインボー）古川　工

歌壇

■選者　春日真木子

【入選】▼

ひと晩を見せていたのか硝子戸に眠るかまきりさかさまの腹
（青森まほろば）加藤　捷三

局面はいろいろあるが辞表出す瞬間男の美学が決まる
（青森県・五戸）吉田　晶二

廃業の老舗書店の主が言ふ「本に本当に申し訳ない」
（青森県・弘前）岩間　甫

一万尺攀じり来りし登山靴白馬の土を洗ひねぎらふ
（新潟八千代）荻島　俊雄

雨止まばつるの行く先決めやらむ朝顔と見る暗き空なり
（栃木県・小山西）大森由紀子

たっぷりの塩の白衣をまとひつつ甕の梅の実短くねむる
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

駅前にティッシュを配る若者は兔に角渡せば仕事済むらし
（愛知県・西尾東）坂部喜三江

震度六観光客のなき宿の広き湯舟を独り占めする
（岐阜県・大垣水都）小玉　啓一

家持の鵲の歌なぞりつつ心繋がる七夕の夕
（石川県・羽咋）竹津　弘子

伊吹山小雨降るなか登り来る濃霧に映ゆる仲間の笑みよ
（兵庫県・和田山）北垣　正幸

【特選】

花畑を探し求めて飛びて来しはぐれ蜜蜂の羽を擦る音
（大分県・中津沖代）松本　達雄

（評）調べのうつくしい歌である。短歌は、五七五七七の型に言葉を組み、三十一音の一行になったときの姿と、調べのうつくしさが大切である。掲出歌は八音が多く、かろやかで明かるい。たまたま集団からはぐれたのであろう、花畑を探し求める一匹の蜜蜂を「はぐれ蜜蜂」と表現したところ、さらに結句を「羽を擦る音」で収めたところ、詩的センスを感じ、巧みである。自から気品のひろがる一首である。
今号は、加藤、荻野作品にも注目した。

■2008年1月号から実施する本誌のリニューアルに伴い「歌壇」は本年12月号をもって終了致します。12月号の投歌締切は10月15日です。
長らくご愛読、ご投歌を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

柳壇

■選者　大木俊秀

【特選】

肩書きを並べ饒舌なる名刺　（青森県・弘前中央）高橋　敬

（評）ありとあらゆる肩書きを勲章のようにずらりと名刺に並べる人をよく見かけます。一方では、数え切れないほどの役を持っているのに、名刺には主なものを一つか二つしか揚げない方もおられます。以前、農業番組を担当していた頃、かなりの名士なのに「百姓○○○○」という名刺をいただいたことがあります。これも、人格の違いなのでしょうかね。

捨てる人恨みもせずにごみひろい　（岩手県・水沢中央）千葉　章男

（評）ポイ捨ての常習犯につきつけてやりたい一句ですが、ごみ拾いを黙々と続けられる主人公は、そんなこと全く思っておられないでしょう。個人にせよ集団にせよ、周囲を、環境を美しく健全に保ちたい一心からのボランティア行動。捨てて知らん顔のヤカラとは、人格が違うのですね。それにしても頭が下がります。

■2008年1月号から実施する本誌のリニューアルに伴い「柳壇」は本年12月号をもって終了致します。12月号の投句締切は10月15日です。長らくご愛読、ご投句を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

【入選】▼

雨が降る重い轍を消すように　（青森県・八戸中央）大久保健峰

風鈴の癒しの音色風まかせ　（岩手県・水沢中央）千葉　行平

汗を拭きまた汗を拭きビール飲む　（岩手県・水沢中央）山下　日月

ネタ切れへさあどうしようアンコール　（新潟県・五泉）長澤　信一

水虫を完治させずに友とする　（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

マニフェスト選挙終わればただの古紙　（千葉県・船橋シニア）小沢　敏雄

台風は恐し水がめ水が欲し　（千葉県・流山）皆川　春安

恋の道ジグソーパズルまだ解けぬ　（静岡県・大仁）山本　順平

横に乗る妻にいつでも指図され　（福井県・美浜）山路　義隆

領収書絆創膏でひた隠し　（長野県・塩尻）黒須　俊男

領収書国を動かすこともある　（兵庫県・宝塚グリーン）中島　弘風

ウグイスのさえずりきいてパーパット　（大阪カトレア）榎本　洋子

毒舌のくせに人気のある男　（京都鴨川）栩谷　四朗

太っ腹むかし貫禄いまメタボ　（京都洛西）瀬川　敏弼

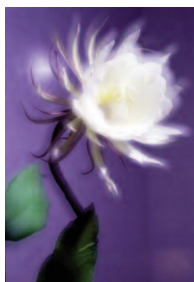
孵卵器にかけてみようか白昼夢　（宮崎橋）井上　忠一

選：河相正名（日本写真家協会会員）

MY BEST SHOT

山野智要之亮
広島あさひ
［キッス］

●選評

静かな池にパシャッと音がした。目をやると、これがまさしく「鯉の恋」。普通なら主題にする睡蓮をサブにし、水中の鯉を主役にしたのが成功した。フレーミングも丁寧。「写真は観察から始まる」と言われるが、作者の観察眼は見事。題名にもう少しロマン、ユーモアが欲しかった。

松下正治
大阪梅田
新道
［貴婦人］

成瀬正幸　愛知県豊田
［今日もお店番］

山口俊行　大阪府茨木［躍動］

上野春夫　広島県三原
［マウンテンバイク］

横内孟　山梨県南アルプス［レンゲツツジと富士］
木村文丸　青森県弘前［大和なでしこ］
吉田幸蔵　愛知県江南［丹頂鶴］
畔柳東一　愛知県岡崎竜城［愛知のファイナル］
安藤正一　愛知県豊田［すいれん］
梅田尊　愛知県豊田［シャボン玉］
藤根秀夫　愛知県豊田［語らい］
岩佐清　岐阜県高山［つつじ］
作治隆幸　大阪府岸和田シニア［京都の夏］
川口敏子　大阪府東大阪ききょう［草とり］
高山勇　和歌山県富田川［並ぶ食材］
吉野耕司　京都府宮津［夏到来･わぁー魚獲れた］
田尾忠士　愛媛県新居浜ひうち［夜の華］
菊野善之助　愛媛県松山ホスト［ペチュニア模様］
成関進　高知県伊野［Clean Ino］

■2008年1月号から実施する本誌のリニューアルに伴い「マイ・ベスト・ショット」は本年12月号をもって終了致します。長らくご愛読、ご投稿を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

「楽しむことこそ最高の境地」（論語）書（310×220ミリ）

「楽しむことこそ最高の境地」
論語の一文である。
昨今の社会情勢をかんがみると、一過性で心から楽しむことが出来る者がどれ程いるだろうか。そう問われれば意外や少ない。

平野和伯
静岡県
浜松東ライオンズクラブ
会社役員

この人生は波瀾万丈の世界。この世界を乗り越えるには何事においても楽しむ境地を作ることが大切である。
（ひらのかずのり・雅号：大川・68歳）

■2008年1月号から実施する本誌のリニューアルに伴い「ライオンズ・ギャラリー」は本年12月号をもって終了致します。長らくご愛読、ご投稿を頂き、ありがとうございました。（ライオン誌日本語版委員会）

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。 編集部

シカゴ国際大会の様子、伝わる

●第90回シカゴ国際大会特集「ウエルカムホーム 誕生の地で協会創設90年を祝った世界のライオンズ」（8月号THEME）は写真が華やかで見ているだけで楽しくなりました。日本のことがもう少し多く載っているとなお良かったなと思いますが、毎回、グローバルな内容を大変楽しみにしています。

栃木県・足利中央●清水光哉

●「ウェルカムホーム」の見出しはインパクトがあり、中の写真も充実した印象を持ちました。築地通信では創設者メルビン・ジョーンズが眠る墓の写真を見ました。創設者が90年経った現在を知ったら、日本の岩手の小都市にまで志が広がっているとは！　と驚かれるでしょう。我がクラブも、その志を温めながら、もうすぐ50年を迎えようとしています。

岩手県・一関●菅原康次

模範アクティビティ

●視覚障害者が健常者と一緒にダンスを踊れることは、すばらしいことです。「車いすダンス・パーティーで愛と勇気と資金獲得」（8月号CSFⅡリポート：北海道・滝川中央ライオンズクラブ）の話に感動しました。しかもその収益金がCSFⅡに献金されるとは。他クラブの模範だと思います。

徳島県・阿波●秋月敏夫

●毎回、各地のアクティビティの記事に目が留まります。今回、滝川中央ライオンズクラブの「車いすダンス・パーティー」の内容は、金額もさることながら、皆が楽しみながら出来ることとして大変参考になりました。また、今後のアクティビティの方向の一つとして考えさせられました。

鳥取久松●岡村栄司

ケラー女史の姿が目に浮かぶよう

●ライオン佐野滋治の「ヘレン・ケラー女史の講演会」を読んで感激。ヘレン・ケラー女史は、子どもの時から伝記などで読んで知っていますが、実際に接したことがあると

ライオン誌投稿要領

▼応募資格に特に記載のない場合は、ライオン、ライオネス、レオ及びその家族。
▼締切の記入のないものは随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却は致しません。返却希望の場合はその旨を明記してください。
▼電子メールでの写真投稿は長辺1,600ピクセル程度のJPEG最高画質で。
▼住所、氏名、クラブ名を明記。

■こころのチキンスープ・ライオンズ編40〜41㌻
●ライオンズにまつわる感動的なエピソードの概略、あるいは1,200〜2,000字程度の原稿。ストーリーは本誌ライターが書き下ろします。

■クラブ・リポート42〜46㌻
●アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。関連写真があれば添付。

■獅子吼52〜56㌻
●会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。職種、年齢を明記。
●題字はハガキ程度の大きさ。

■俳壇・歌壇・柳壇57〜59㌻
●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切：毎月15日。

■MY BEST SHOT60㌻
●会員及びその家族でアマチュア。
●応募作品：題材は自由。プリント（サービス判〜2L判ぐらい）、スライド（35㍉以上）、またはデータ（JPEG最高画質）。1人5点まで。
●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、データはメールの添付書類で本文に、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り同封。締切：毎月15日。

■リーダース・プラザ62〜63㌻
●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部送付。
●伝言板：読者間の情報交換に。
●読者から：本誌への意見、感想など。

※2008年1月号からの本誌リニューアルに伴い「俳壇・歌壇・柳壇」「マイ・ベスト・ショット」「ライオンズ・ギャラリー」「リーダース・プラザ」の各コラムは12月号をもって終了致します。長らくご愛読、ご投稿を頂き、ありがとうございました。

送り先：
〒104-0045中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌事務所
ファクス：03-3546-2630
Eメール：edit@thelion.jp

は！「若々しい表情で、女史独特の声音で訴える」というところが、目に浮かぶようでした。

岡山県・西大寺●小林裕

「論点」の意見に同感

●「慣習を見直して魅力ある例会に」（5月号）に私も同感でした。「例会出席こそ奉仕の始まり」と言われますが、あまりに形式に捕らわれた例会は息苦しくてなりません。ある程度は時代に合うように見直し、会員が交流を深め、ライオニズムや奉仕について考える場所にすべきだと思います。奉仕に対する会員の気持ちを盛り上げてこそ、本来のライオンズではないでしょうか。

千葉県・茂原●鶴岡哲夫

●「将来を見据え献血事業の在り方を再考しよう」（8月号）に同感です。献血への協力は、地域社会に対する重要なアクティビティの一つです。当クラブも年に3回献血活動を行っていますが、献血者の減少が目に付きます。血液供給事業は国策として位置づけ、例えば一定年齢に達した者、免許証更新の条件など、献血＝ボランティアでの提供ではなく、制度化した施策の実現を働かせていかなくてはならない時期に来ていると考えます。

東京江東南●水村凱次

「直心と奉仕の心」が原点

●8月号「THEME」新国際会長プログラム「変化への挑戦」は、今後の取り組みの方向性を考えさせられる内容でした。しかし、同号「編集室」で砂田委員長が述べておられるように、変化へ挑戦する前にメンバー各自が原点に立ち返り「直心と奉仕の心」を持って活動しているかを反省してみることが出発点であり、ライオンズ全体のベースになることと思います。

山口県・岩国桜●村田實

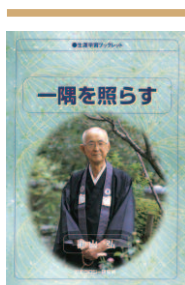
クラブ会員刊行物

●一隅を照らす

著者／勧山弘（静岡県・沼津ライオンズクラブ）発行／㈶モラロジー研究所（TEL 04-7173-3155）

A5判　本文63ページ
600円

㈶モラロジー研究所の倫理道徳の研究に基づいた「生涯学習講座」における講話をもとに編集した一冊。

●救いの刃

著者／木全純（千葉県・船橋ライオンズクラブ）発行／㈱文芸社（TEL 03-5369-2299）

B6判 本文228ページ
1,270円

ひきこもり、不登校、家庭内暴力、多重債務を経験した10代。が、20代で会社を興し、21歳でライオンズへ入会。24歳の著者が前向きに生きるために綴った自叙伝。

訂正とお詫び

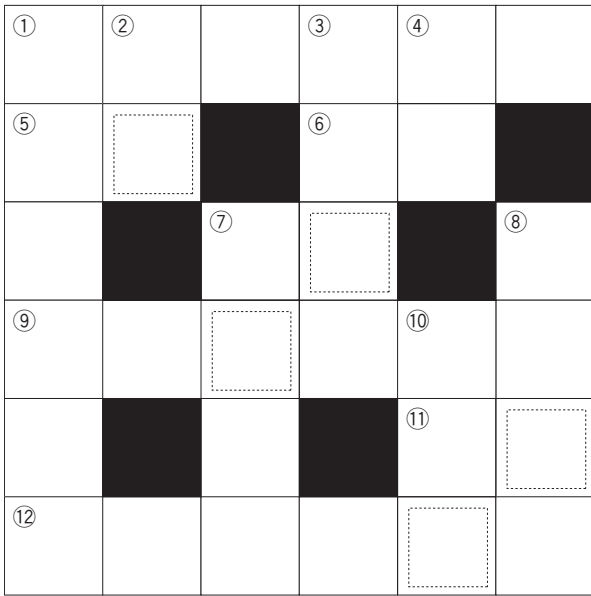
本誌9月号において以下のような誤りがありました。

61ページライオンズ・ギャラリーで「友人と陶芸を始めてから、22年になります」は、「友人と陶芸を始めてから、2年になります」の誤りでした。

関係者各位にご迷惑をお掛けしたことをお詫びし、訂正致します。

ライオン誌事務所来訪者芳名録

日付	クラブ	氏名
8/3	岐阜県瑞浪	五十嵐貞夫
8/6	大阪淡路	弓岡　長美
8/6	大阪淡路	小谷　進
8/7	岩手県藤沢岩手	高橋義太郎
8/7	富山昭和	高田　順一
8/7	千葉	岡野　正義
8/10	千葉県四街道	楠岡　巖
8/23	東京番町	直井　清

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べ換えてください。正解者の中から10人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は66ページ）。締切は2007年10月20日。

解答 □□□□□　ヒント：アマラスリヤ国際会長の出身国

↓タテのカギ

①陰暦の8月15日
②秋の味覚。いがいががある
③船の安定を良くするため船底に積む鉄や砂利、あるいは二重底のタンクに入れる水や油など
④ヒトラーを党首としたドイツのファシズム政党
⑦物事のむずかしさとやさしさの程度
⑧落語など、観客の笑いを誘う出しもの
⑩学校の教科

←ヨコのカギ

①地区運営の責任者。任期は国際大会の閉会時から次の大会の閉会時まで
⑤花言葉は「威厳」「純潔」「無垢」
⑥無理やりに連れて行くこと
⑦揚げる？ 焼く？ 漬ける？ 濃い紫紺色でつやのある野菜
⑨今月号ふるさと探訪で取材した清流
⑪顔
⑫秋はシーズン真っ盛り。大勢でいろいろな競技や遊戯をする

■前回の答え

ハ	イ	ブ	リ	ツ	ド
ン	■	ン	■	マ	ネ
ケ	シ	ゴ	ム	■	ー
ツ	タ	■	ダ	ガ	シ
■	テ	バ	■	ト	ヨ
キ	ヤ	ン	ペ	ー	ン

答えは「マツタケ」

EDITOR'S ROOM

築地通信

●毎月、事務所には『ライオン』誌を見て頂いた多くの方から、読者プレゼントの応募はがきが大量に届きます。厳選な抽選によって当選者を決定しておりますが、ふとはがきに目を落とすと、とても目を引くおはがきが多いのです。直筆のイラスト付きや、ご自慢の愛犬の写真入り、自作の押し花が張られたものなどもあり、そういったおはがきばかりが優先的に当選するわけではないのですが、見つけるとなんだか心がほっと和む瞬間でもあるのです。（吉田）

●その話を聞いたのは、横浜のある会員からだった。「自分が所属しているNGOの国際会議で、アフリカから参加した女性が立ち上がり話し始めた。『石を煮るんです。子どもたちがお腹を空かせて泣く時、母親はイモを煮ているように見せかけて石を煮るんです。そして子どもたちが待ちくたびれて眠ったらそっと火を消すんです』」。その時のNGOが、今月のTHEMEで取材したハンガー・フリー・ワールドだった。自分に何が出来るか考えたい。（鈴木）

読者プレゼント

■四万十の川のりを10人の読者に

「ふるさと探訪」（47ページ）に登場した高知県・四万十ライオンズクラブから四万十の川のりが10人の読者にプレゼントされます。

土佐の特産品を幅広く扱うアカメ館（ライオン上田英久）で、土産物としても地元の人にも大人気の川のりです。川のりは、淡水と海水が交差する「汽水域」、しかも清流でしか採れない貴重品。四万十川産が国内シェアの90％を占めています。

川のりには、糖尿病治療に効果があるとして注目されいるバナジウムやクロムが、全食品の中で最も多く含まれています。もちろん味も良し。みそ汁や天ぷら、佃煮、和え物などさまざまにお楽しみ頂けます。

■「フィラデルフィア美術館展」チケットを10人の読者に

10月10日～12月24日、東京・上野の東京都美術館で開催される「フィラデルフィア美術館展」のチケット（2枚1組）が10人の読者にプレゼントされます。1876年、アメリカで初めて万国博覧会が開催され、その時の美術展会場が同美術館となりました。今回の展覧会では19世紀後半から20世紀の、多彩でダイナミックな展開を見せた西洋美術史をたどります。

ピエール＝オーギュスト・ルノワール「ルグラン嬢の肖像」1875年 Philadelphia Museum of Art,The Henry P. McIlhenny Collection in memory of Frances P. McIlhenny, 1986

『ライオン』誌日本語版バック・ナンバー

2007年9月号

THEME I：薬物乱用防止／2007-08年度国際理事会構成／ROAR：337複合地区

2007年8月号

THEME I：シカゴ国際大会／THEME II：2007-08年度国際会長プログラム

プレゼント応募要項

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、クラブ名と「川のり」「フィラデルフィア」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は10月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌事務所

➊ウェブサイトからの応募
www.thelion-mag.jp/modules/form1

次号予告

THEME
女性会員

女性がライオンズクラブに入会出来るようになってから今年で20周年。日本でも今や女性の会員は約8千人、全体の7％を占め、クラブやリジョン、地区などさまざまなレベルで活躍している。女性会員の20年の変遷をたどり、日本で最初の女性会員や女性地区ガバナー、また現在リーダーシップを発揮している会員たちを紹介。日本と世界の女性会員数など各種データ資料も掲載する。

PICK UP
新潟県中越沖地震

7月16日の新潟県中越沖地震で大きな被害を受けた柏崎、刈羽両地域のライオンズの動き、また所属する333・A地区や全国のライオンズによる支援活動を追う。

ふるさと探訪
福井県越前市

福井県越前市を訪ね、伝統工芸の「越前打刃物」を取材する。室町時代の始め、京都から刀作りの職人が刀剣製作にふさわしい土地を求め、この地にやって来たが、実際に職人が作ったのは刀剣ではなく、近隣の農民が使う鎌などの農耕具であった。江戸時代には福井藩の保護により全国で売られるようになり、昭和54年には刃物産地として、最初の伝統的工芸品の指定を受けている。

Official publication of Lions Clubs International.

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages – English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

編集室

安心安全考

ライオン誌
日本語版委員
◉
山根健

「衣食足りて礼節を知る」ということわざがある。戦後の衣食住の貧困から無我夢中に働いて、一億総中流と自負しながらがんばった末、今は格差社会へと変遷してきた。

衣……現在、製造製縫の主流は中国で、繊維・アパレル業界は混沌の中、奮闘の連続。

食……生存の命綱であるが、豊饒の時代を迎え、片や低価格競争も相まって偽物横行。問題になったBSE（牛海綿状脳症）関連の輸入牛肉の表示偽装。そして、国内でも食品の偽造や賞味期限の改ざんなどが相次ぎ、食の安全が揺らいでいる。

最近、新聞やTV等の報道でよく取り上げられている中国産輸入食品については、言語道断である。

住……生活の拠点はまず住まいからである。戦後、建築物に関する最低の基準を定めて、生命、財産の保護を図ろうと制定せれたのが、建築基準法。以後、自然災害あるいは、人災で破壊した場合の調査研究を怠らず、法改正をしながら今日に至っている。ところが、全く予測のつかない事件が起こった。それは建築物構造設計を偽る……つまり耐震偽造である。この件が表面化して数年経過。問題物件がある地に地震が発生していないので、直接かかわっている被害者以外は忘れかけている。誠に恐ろしい限りだ。

先だっての中越沖地震で被災された方々にお見舞い申し上げると共に、早く立ち直られることを祈念している。この地震によって、原子力発電所の火災発生や放射能もれが問題視されているが、むしろ、重要な事柄を隠ぺいしている体質が問題だと思う。

第90回国際大会開催地シカゴは、アル・カポネが暗躍した地で、一般的に「暗黒の街」のイメージが強いが、実は別名「建築の街」と呼ばれている。高層建築から一般住宅に至るまですばらしい建築群が存在している。

我が国も、技術、意匠的にも劣りはないが、地震国日本として、自然災害を克服出来る安心安全な街づくりを望むところだ。